

令和4年度
消防防災年報

福 井 県
＜令和5年刊行＞

目 次

〔消 防 編〕

第1章 消防の概要

第1表 福井県常備消防体制	1
第2表 消防の概況表	2

第2章 火災の実態

1 概況	4
2 出火件数および損害額の状況	4
3 出火原因	4
4 火災による死者の状況	5
第1表 1日当たりの損害状況	5
第2表 令和4年火災発生状況と前年比較表	6
第1図 過去10年間の出火件数と損害額の推移	7
第2図 過去10年間の死傷者数等の推移	7
第3図 火災発生件数の内訳	8
第4図 うち建物火災件数の内訳	8
第5図 損害額の内訳	8
第3表 令和4年月別火災発生状況表	9
第4表 市町別火災発生状況表	10
第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率	11
第6表 全火災の出火原因別損害状況表	12
第6図 全火災の出火原因別状況	12
第7表 死者の死因別発生状況表	13
第8表 死者の経過別および年齢別発生状況表	13

第3章 救急業務の実態

1 救急体制	14
2 救急医療体制	14
3 救急活動状況	14
第1表 救急体制状況表	15
第2表 医療機関状況表	15
第3表 救急活動状況表	15
第4表 高速自動車道における救急活動状況表	15
第1図 過去10年間の救急活動の推移	16
第2図 出場件数の事故種別内訳	16
第3図 搬送人員の事故種別内訳	16

第4章 予防行政の概況

1 防火対象物定期点検報告制度	17
第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表	17
2 消防設備士試験および講習の状況	18
第2表 消防設備士試験実施状況表	18
第3表 消防設備士法定講習実施状況表	18

第5章 危険物規制

1 概況	19
第1図 危険物施設構成比	19
第2図 過去10年間の危険物施設の推移	19
第1表 施設別危険物施設数	20
第2表 指定数量別および類別危険物施設数	21

第3表	危険物施設に対する立入検査状況	22
第4表の1	容量別屋外タンク貯蔵所数	23
第4表の2	品名別屋外タンク貯蔵所数	23
第5表	危険物取扱者試験実施状況	24
第6表	危険物取扱者保安講習実施状況	24
2	危険物施設の火災および漏えい事故等	25
第7表	過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数	25

第6章 消防の概要

1	消防の組織	26
2	消防施設	26
3	民間防火組織	26
4	表彰	27
5	消防の現況	27
第1表	消防職団員数の推移	27
第2表	消防機関の現況	27
第3表	消防の概況	28
第4表	階級別消防職員数	29
第5表	階級別非常勤消防団員数	30
第6表	年齢別消防吏員および消防団員数	31
第7表	在職年数別消防吏員および消防団員数	32
第8表	消防ポンプ自動車等現有数（消防本部および署）	33
第9表	消防ポンプ自動車等現有数（消防団）	34
第10表	化学消火薬剤備蓄状況	35
第11表	消防水利の状況	36
第12表	消防機関の出動状況	37
第13表	消防吏員および団員の公務による死傷者数	37
第14表	火災通報施設等の現況	38
第15表	無線通信施設等の現況	39
第16表	幼年消防クラブの現況	40
第17表	少年消防クラブの現況	41
第18表	女性防火クラブの現況および活動状況	42
第19表	消防表彰受賞状況	43

第7章 消防教育訓練

1	消防学校の概要	44
2	教育訓練	44
第1表	令和4年度消防本部別受講者数	45
第2表	令和4年度消防学校教育訓練実施状況	46
第3表	令和4年度消防大学校派遣者数	46

〔防災編〕

第1章 災害の発生状況

1	令和4年中の災害発生状況	47
第1表	令和4年中の災害発生状況	47
2	過去5年間の災害発生状況	48

第2章 令和4年の天候概況

1	天候の特徴	58
2	月別気象概況	59

第3章 防災訓練の実施状況

I	総合防災訓練	6 3
II	原子力防災訓練	6 7
III	過去5年間の総合防災訓練等の実施状況	7 3
IV	市町別自主防災組織の結成状況	7 4

第4章 防災行政無線利用状況

1	無線局の現況	7 5
2	利用状況	7 7
3	多重局通信回数集計表	7 9
4	端末局無線通信回数調	8 0
5	非常通信訓練実施状況	8 1

第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1	運航基地	8 3
2	組織図	8 3
3	運航時間	8 3
4	活動業務	8 3
第1表	福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）	8 4

〔保安編〕

第1章 高压ガス保安

概況	8 5	
第1表	市町別高圧ガス関係事業所数	8 6
第2表	令和4年度高圧ガス保安法申請等状況	8 7
第3表	令和4年度液化石油ガス法申請等状況	8 7
第4表	令和4年度高圧ガス製造保安責任者試験実施状況	8 8
第5表	令和4年度高圧ガス販売主任者試験実施状況	8 9
第6表	令和4年度液化石油ガス設備士試験実施状況	8 9
第7表	令和4年度高圧ガス関係免状交付状況	8 9
第8表	令和4年度液化石油ガス関係免状交付状況	9 0
第9表	令和4年度高圧ガス事故発生状況	9 0
第10表	令和4年度液化石油ガス事故発生状況	9 2

第2章 火薬類保安

概況	9 3	
第1表	火薬類関係事業所数	9 3
第2表	銃砲関係事業所数	9 4
第3表	火薬類（爆薬）の消費量の推移	9 4
第4表	火薬類取扱および丙種火薬類製造保安責任者試験実施状況	9 4
第5表	令和4年度火薬類保安講習関係講習会実施状況	9 4
第6表	令和4年度火薬類許可申請等の状況	9 5
第7表	令和4年度事故発生状況	9 6

消 防 編

第1章 消 防 の 概 要

第1表 福井県常備消防体制(令和5年4月1日現在)

嶺北消防組合

設置年月日	S44. 7. 24
消 防 吏 員	203人
消防ポンプ自動車	17台
救 急 車	8台

永平寺町

設置年月日	H18. 2. 13
消 防 吏 員	39人
消防ポンプ自動車	3台
救 急 車	3台

勝山市

設置年月日	S36. 8. 1
消 防 吏 員	36人
消防ポンプ自動車	4台
救 急 車	3台

福井市

設置年月日	H18. 2. 1
消 防 吏 員	369人
消防ポンプ自動車	29台
救 急 車	11台

大野市

設置年月日	H17. 11. 7
消 防 吏 員	55人
消防ポンプ自動車	6台
救 急 車	4台

鯖江・丹生消防組合

設置年月日	S44. 11. 1
消 防 吏 員	124人
消防ポンプ自動車	8台
救 急 車	7台

南越消防組合

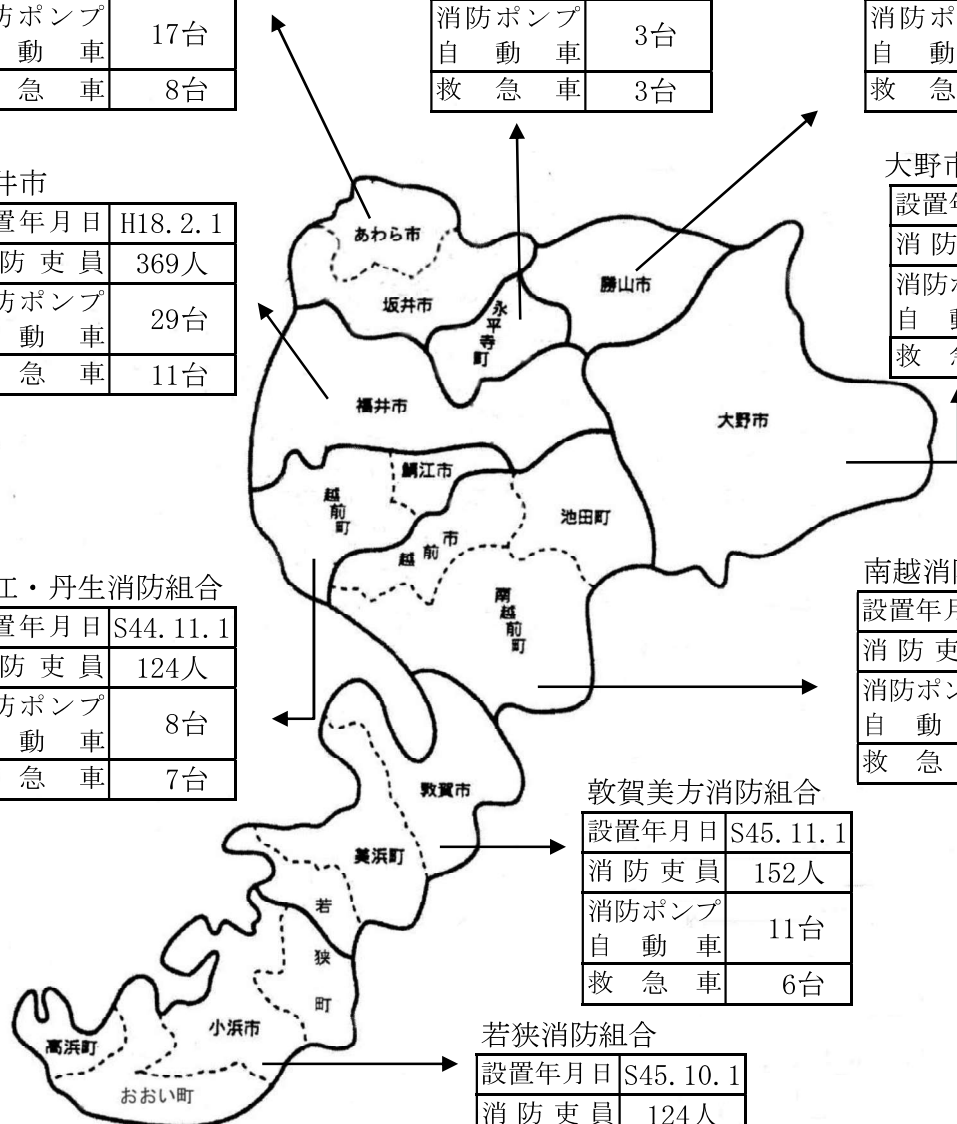
設置年月日	S45. 9. 1
消 防 吏 員	146人
消防ポンプ自動車	14台
救 急 車	8台

敦賀美方消防組合

設置年月日	S45. 11. 1
消 防 吏 員	152人
消防ポンプ自動車	11台
救 急 車	6台

若狭消防組合

設置年月日	S45. 10. 1
消 防 吏 員	124人
消防ポンプ自動車	12台
救 急 車	7台



※台数については、消防団分を含まない

第2表 消防の概況表

面積（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和5年4月1日現在）			4,190.58	km ²
令和2年国勢調査（確定値）人口			766,863	人
推計人口（令和4年4月1日現在）			746,733	人
推計世帯数（令和5年4月1日現在）			294,238	世帯
65歳以上高齢者数（福井県の推計人口 令和4年10月1日現在）			232,706	人
高齢化率（ 〃 ）			30.9	%
地域別人口	福井坂井地区（令和2年国勢調査 確定値）		397,298	人
	奥越地区		53,436	人
	丹南地区		181,456	人
	嶺南地区		134,673	人
令和4年火災状況	火災件数		172	件
	うち	建物火災件数	95	件
		林野火災件数	6	件
	建物焼損面積（床）		4,670	m ²
	林野焼損面積		82	a
	損害額		291,134	千円
	うち	建物火災	275,478	千円
		死者（自殺者数内数）	10(3)	人
	負傷者		38	人
	出火率（人口1万人に対する出火件数）※人口：令和4年3月31日現在		2.25	件
令和4動態救急況	救急出場件数		32,231	件
	うち	急病	20,946	件
		交通事故	1,984	件
		一般負傷	5,133	件
	搬送人員		29,977	人
消防本部・署所	消防本部	単独設置市	3	
		単独設置町	1	
		消防一部事務組合	5	
	消防署数		19	
	出張所数		26	
	消防職員	消防吏員	1,248	人
		その他の職員	28	人
		合計	1,276	人
消防団	消防団数		18	
	分団数		237	
	消防団員	非常勤団員数	5,849	人
		常勤団員数	—	
		合計	5,849	人

消防車両等	区 分		消防本部・署所		消 防 団		
	普通消防ポンプ自動車		52 台		130 台		
	水槽付消防ポンプ自動車		23 台		4 ー		
	はしご付消防ポンプ自動車		9 台		ー		
	屈折はしご付消防ポンプ自動車		3 台		ー		
	大型高所放水車		1 台		ー		
	泡原液搬送車		2 台		ー		
	化学消防自動車		14 台		ー		
	指揮車		20 台		ー		
	小型動力ポンプ付積載車		ー		199 台		
	小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)		26 台		84 台		
	広報車		30 台		ー		
	資機材搬送車		28 台		ー		
	屈折放水塔車		1 台		ー		
	救急自動車		57 台		ー		
	救助工作車		14 台		ー		
	その他の車両		31 台		ー		
	消防水利	消火栓		公 設		18,932 個	
私 設				98 個			
防火水槽		100㎡以上		118 基			
		60㎡以上 100㎡未満		113 基			
		40㎡以上 60㎡未満		4,959 基			
		20㎡以上 40㎡未満		465 基			
井戸		公 設		80 個			
		私 設		ー			
そ の 他					548 個		
通信施設等	消防用無線		基地局および固定局		66 局		
			移動局		1,093 局		
	防災行政無線	市町	同報無線	同報親局	24 局		
				同報受信設備	28,952 局		
			移動無線	基地局	9 局		
				移動局	469 局		
		県	固定系	地上系	28 局		
				衛星系	68 局		
			移動系	基地局等	18 局		
				移動局等	221 局		
	テレビ監視装置					2 基	
	火災報知専用電話					99 回線	
	消防電話					224 回線	

第2章 火 災 の 実 態

1 概 況

令和4年度中の火災発生件数は172件、死者10人、負傷者38人、損害額2億9,113万円、焼損棟数137棟、り災世帯数75世帯、り災人員167人となっており、一日当たりの損害状況は第1表のとおりで、概ね毎日80万円が灰じんに帰していることになる。

火災発生件数、損害額および死傷者数の過去10年間の推移は、第1図、第2図のとおりであり、火災発生件数においては、平成25年中が最も多く、令和3年中が最も少ない。

2 出火件数および損害額の状況

(1) 出火件数

総出火件数は172件で、これを火災種別ごとにみると、第3図のように建物火災が95件で全体の55.2%を占め、車両火災21件(12.2%)、林野火災6件(3.5%)、船舶火災2件(1.2%)、その他火災48件(27.9%)となっている。

また、建物火災だけでみると、第4図のように一般住宅が39件(41.1%)で最も多く、次いで工場19件(20%)、共同住宅・事務所それぞれ6件(6.3%)、複合用途(特定)5件(5.3%)、倉庫2件(2.1%)、飲食店1件(1.1%)、その他9件(9.5%)となっている。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、出火件数の多い月が3月と4月で各23件、少ない月が11月の9件となっている。

第4表では、市町別の火災発生状況を示している。

(2) 損害額

損害額は2億9,113万円で、これを火災種別ごとにみると、第5図のように建物火災が2億7,548万円で全体の94.6%を占め、次いでその他780万円(2.7%)となっている。火災1件当たりの損害額は約169万円となる。

第3表の月別火災発生状況表をみると、12月の損害額が約6,819万円で最も多く、6月が約673万円で最も少ない。

3 出火原因

全火災の出火原因別状況を表したのが第6図であり、出火原因別損害状況を表したのが第6表である。

第6図をみると、出火原因では電灯電話等の配線が最も多く19件で11%を占め、次いで、たき火15件(8.7%)、ストーブ12件(7%)、電気機器11件(6.4%)、マッチ・ライター9件(5.2%)などとなっている。

4 火災による死者の状況

死者の死因別発生状況を表したのが第7表であり、死者の経過別、年齢別発生状況を表したのが第8表である。

第7表をみると、死因では、一酸化炭素中毒・窒息が5人、火傷が4人となっている。
また、令和4年中の死者に占める65歳以上の高齢者は6人で全体の約6割となった。

第1表 1日当たりの損害状況

区 分	単位	令和4年 (A)	令和3年 (B)	対前年増加数 (A)－(B)
出火件数	件	0.47	0.42	0.05
損害額	万円	80	135	△ 55
焼損棟数	棟	0.38	0.36	0.02
り災世帯数	世帯	0.21	0.18	0.03
り災人員	人	0.46	0.46	0.00

第2表 令和4年火災発生状況と前年比較表

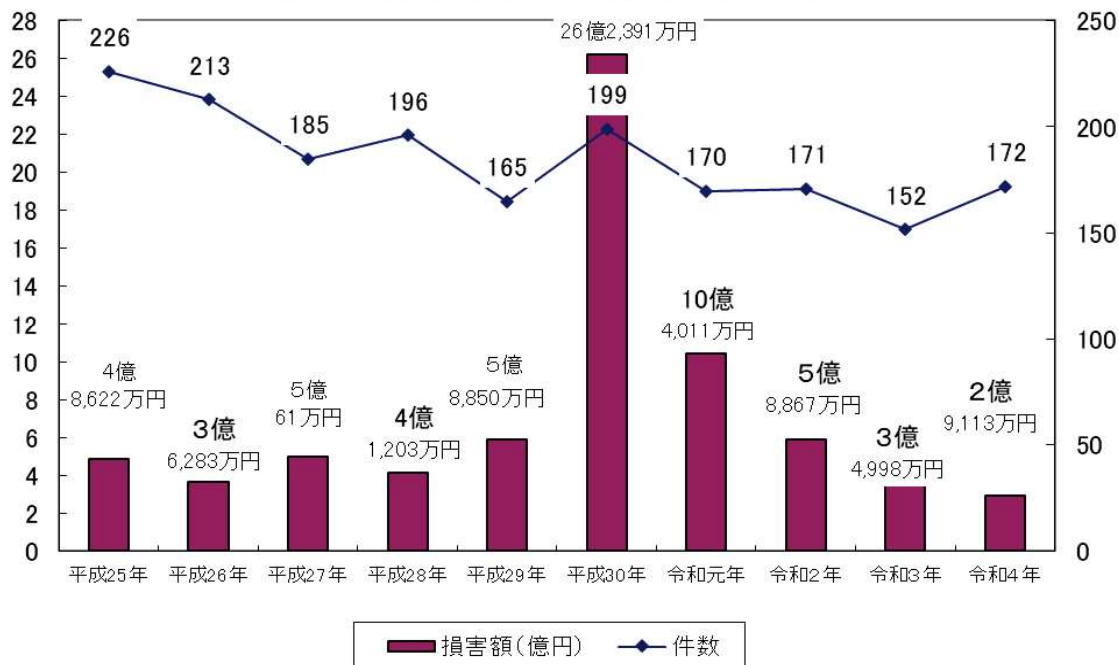
区 分	令和4年(A)	令和3年(B)	対前年増加数 (A)－(B)＝(C)
総 出 火 件 数	172	152	20
建 物	95	86	9
林 野	6	6	0
車 両	21	24	△ 3
船 舶	2	1	1
そ の 他	48	35	13
焼 損 棟 数 (棟)	137	132	5
全 焼	32	31	1
半 焼	7	7	0
部 分 焼	37	40	△ 3
ぼ や	61	54	7
り 災 世 帯 数 (世 帯)	75	67	8
全 損	17	15	2
半 損	6	5	1
小 損	52	47	5
り 災 人 員 (人)	167	168	△ 1
建 物 焼 損 面 積 (m ²)	4,670	5,884	△ 1,214
林 野 焼 損 面 積 (a)	81	499	△ 418
損 害 額 合 計 (千 円)	291,134	494,337	△ 203,203
建 物	275,478	432,255	△ 156,777
林 野	537	7	530
車 両	7,272	4,785	2,487
船 舶	51	850	△ 799
そ の 他	7,796	56,401	△ 48,605
爆 発	0	39	△ 39
死 者 (人)	10	5	5
() は 放 火 自 殺 者 内 数	(3)	(2)	1
建 物	8	3	5
林 野	0	0	0
車 両	0	2	△ 2
船 舶	0	(2)	(△ 2)
そ の 他	2	0	2
(0)			0
負 傷 者 (人)	38	30	8
建 物	30	23	7
林 野	1	1	0
車 両	2	2	0
船 舶	1	0	1
そ の 他	4	4	0
出 火 率 (人口1万人に対する出火件数)	2.25	1.97	

令和3年人口：令和3年3月31日現在の住民基本台帳人口による。

令和4年人口：令和4年3月31日現在の住民基本台帳人口による。

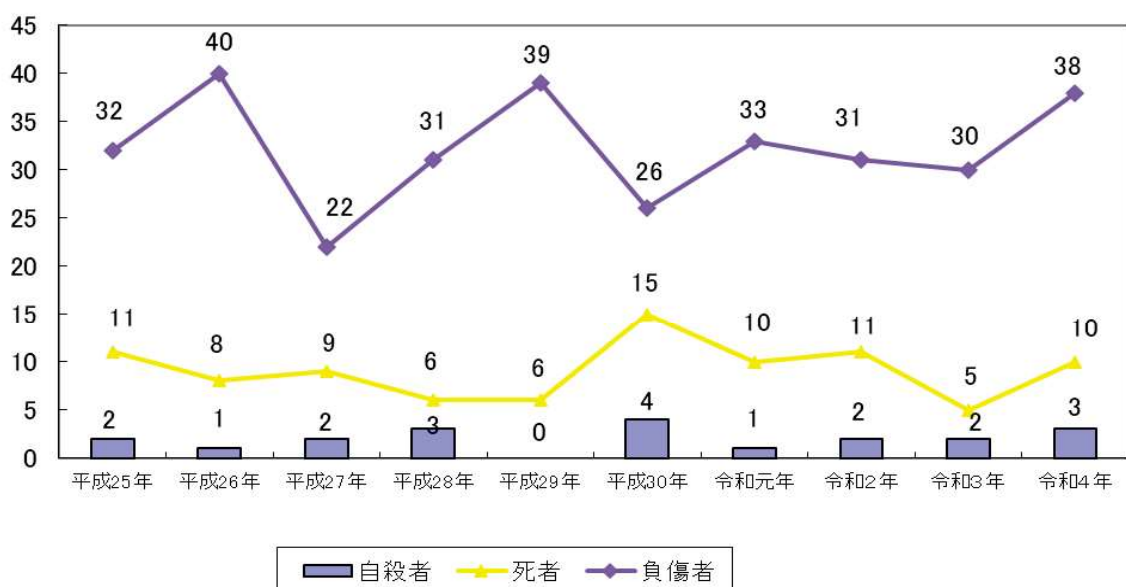
損害額(億円)

第1図 過去10年間の出火件数と損害額の推移

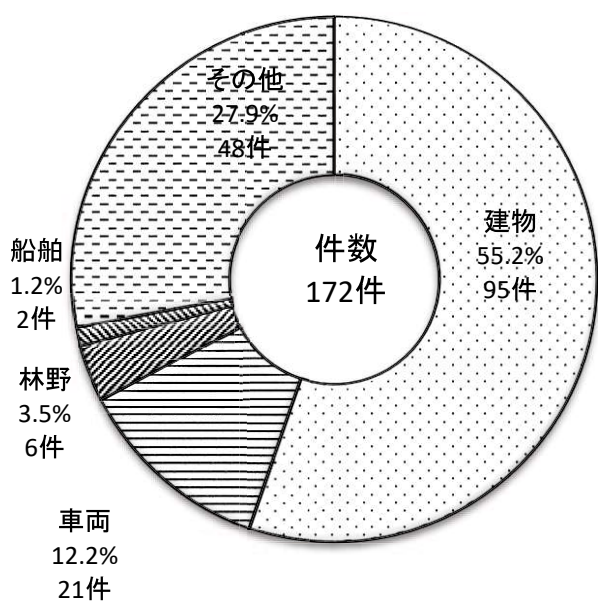


死傷者数(人)

第2図 過去10年間の死傷者数の推移

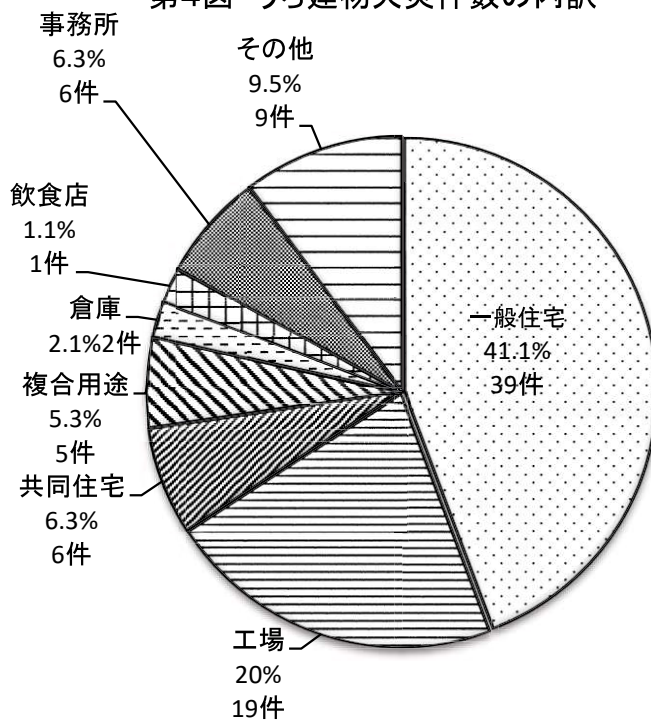


第3図 火災発生件数の内訳



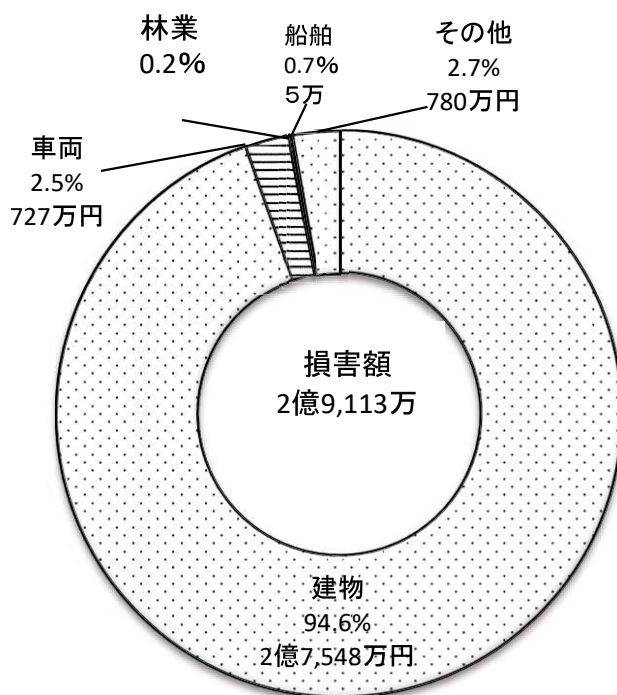
□建物 □車両 □林野 □船舶 □その他

第4図 うち建物火災件数の内訳



□一般住宅 □工場
 □共同住宅 □複合用途(特定)
 □倉庫 □飲食店
 □事務所等 □その他

第5図 損害額の内訳



□建物 □車両 □林野 □船舶 □爆発 □その他

第3表 令和4年月別火災発生状況表

月	出火件数(件)					焼損棟数(棟)				焼損面積		り災世帯数(世帯)				死 者 (人)	死 内 は 放 火 自 殺 者 (人)	負 傷 者 (人)	損害額(千円)								
	合 計	建 物	林 野	車 両	船	そ の 他	合 計	全 焼	半 焼	部 焼	ば や	建 物 (㎡)	林 野 (a)	合 計	全 損				半 損	小 損	り 災 人 員 (人)	建 物	林 野	車 両	船	そ の 他	爆
1	12	9		2		1	26	6	0	9	11	658	0	19	4	0	15	57	0	11	42,378	41,355	0	885	0	138	0
2	10	8			1	1	9	1	0	2	6	338	0	5	1	0	4	7	1	2	26,664	26,610	0	0	50	4	0
3	23	17	1	3		2	23	6	0	9	8	865	2	16	2	1	13	34	2	4	23,923	21,472	18	2,425	0	8	0
4	23	6	2	2		13	9	1	2	3	3	192	29	4	1	2	1	8	1	5	13,128	12,487	519	115	0	7	0
5	14	6	1	1		6	10	4	1	2	3	530	1	7	3	1	3	15	0	5	33,657	33,329	0	148	0	180	0
6	16	6	2	2		6	7	2	0	2	3	251	50	3	1	0	2	6	1	4	6,730	6,346	0	86	0	298	0
7	12	7			1	4	8	2	0	1	5	246	0	0	0	0	0	0	2	8,031	6,479	0	0	1	1,551	0	
8	10	6		3		1	6	1	0	1	4	144	0	2	0	0	2	2	0	0	15,036	13,515	0	1,521	0	0	0
9	12	3		4		5	3	0	0	0	3	0	0	1	0	0	1	1	1	6,897	0	0	1,709	0	5,188	0	
10	13	7		1		5	8	3	1	2	2	507	0	2	1	0	1	2	1	29,043	28,548	0	158	0	337	0	
11	9	6		1		2	11	1	1	4	5	174	0	8	1	1	6	13	1	2	17,456	17,456	0	0	0	0	0
12	18	14		2		2	17	5	2	2	8	765	0	8	3	1	4	22	2	1	68,191	67,881	0	225	0	85	0
計	172	95	6	21	2	48	137	32	7	37	61	4,670	82	75	17	6	52	167	10	38	291,134	275,478	537	7,272	51	7,796	0

第4表 市町別火災発生状況表

期間：令和4年1月1日～令和4年12月31日

区分	出火件数(件)					焼損棟数(棟)					り災世帯数(世帯)					り死傷者数(人)		焼損面積					損害額(千円)						
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	全焼	部分焼	ほぼ全焼	計	全損	半損	小損	災害人員	死者	負傷者	建物床(㎡)	建物表(㎡)	林野(a)	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発			
福井市	38	18	1	6	0	0	13	26	4	1	8	13	17	4	1	12	38	2	9	1,005	19	2	60,731	57887	18	2,239	0	587	0
敦賀市	15	8	0	2	1	0	4	14	2	1	4	7	8	0	1	7	21	1	2	165	23	0	17,973	17779	0	144	50	0	0
小浜市	6	3	1	0	0	0	2	5	4	0	0	1	2	1	0	1	3	0	1	464	0	2	9,144	7616	0	0	0	1,528	0
大野市	7	3	1	2	0	0	1	3	0	0	2	1	1	0	0	1	1	0	1	0	2,353	24	8,339	8016	0	323	0	0	0
勝山市	6	3	1	1	0	0	1	7	3	0	1	5	3	2	0	8	2	0	593	0	51	34,655	33786	519	350	0	0	0	0
鯖江市	23	17	1	2	0	0	3	32	5	0	13	14	20	4	0	16	44	3	10	864	121	2	56,693	54304	0	2,382	0	7	0
あわら市	7	4	0	0	0	0	3	6	2	0	1	3	5	1	1	3	12	0	3	210	0	0	6,616	6596	0	0	0	20	0
越前市	17	12	0	2	0	0	3	12	2	0	3	7	6	1	0	5	11	1	3	203	4	0	6,749	6462	0	201	0	86	0
坂井市	15	5	1	3	1	0	5	6	2	0	0	4	1	0	0	1	4	0	4	1	0	1	10,061	3132	0	1,613	1	5,315	0
市計	134	73	6	18	2	0	35	111	24	5	31	51	65	14	5	46	142	9	33	3,505	2,520	82	210,961	195,578	537	7,252	51	7,543	0
永平寺町	3	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	208	0	0	43,900	43880	0	20	0	0	0
池田町	3	2	0	0	0	0	1	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	326	0	0	6,581	6581	0	0	0	0	0	0
南越前町	4	2	0	1	0	0	1	4	2	0	1	1	3	2	0	1	5	1	3	293	6	0	6,584	6579	0	0	0	5	0
越前町	10	7	0	1	0	0	2	7	1	1	3	2	5	0	1	4	17	0	2	62	26	0	15,931	15931	0	0	0	0	0
美浜町	5	4	0	0	0	0	1	3	0	0	1	2	1	0	0	1	1	0	0	40	7	0	1,538	1538	0	0	0	0	0
高浜町	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
おおい町	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	187	187	0	0	0	0	0	0
若狹町	10	3	0	0	0	0	7	4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	236	0	0	5,452	5,204	0	0	0	249	0
(内訳)																				0									
旧三方町 敦賀市消防組合管轄	5	2	0	0	0	0	3	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	107	0	0	2,520	2455	0	0	0	66	0
旧上中町 越前市消防組合管轄	5	1	0	0	0	0	4	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	129	0	0	2,932	2749	0	0	0	183	0
町計	38	22	0	3	0	0	13	26	8	2	6	10	10	3	1	6	25	1	5	1,165	39	0	80,173	79,900	0	20	0	254	0
県計	172	95	6	21	2	0	48	137	32	7	37	61	75	17	6	52	167	10	38	4,670	2,559	82	291,134	275,478	537	7,272	51	7,797	0

若狹町は、旧三方町と旧若狹町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載

第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率

期間：令和4年1月1日～令和4年12月31日

区 分	総計		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		出火率 (人口 1万人に 対する 出火件数)
	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	件 数	損害額 (千円)	
福井市	38	60,731	0	0	2	18,809	8	3,210	4	1242	7	27,664	1	54	2	10	3	17	3	1	2	337	1	711	5	8,676	1.46
敦賀市	15	17,973	1	5,552	2	98	1	5,233	2	0	2	5,952	0	0	1	795	1	6	2	144	2	193	0	0	1	0	2.32
小浜市	6	9,144	0	0	0	0	1	4,345	1	0	0	0	0	0	1	1,528	1	3,271	0	0	0	0	2	0	0	0	2.08
大野市	7	8,339	0	0	2	7,617	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	165	2	557	0	0	0	0	2.18
勝山市	6	34,655	1	495	0	0	0	0	3	11662	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	15,303	0	0	1	7,195	2.68
鯖江市	23	56,693	3	31,500	1	0	4	4,919	2	102	1	7	3	60	2	2	8,419	2	7	0	2	10,084	1	1,593	1	1,593	3.32
あわら市	7	6,616	2	4,249	0	0	1	2,365	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	2	2	2.54
越前市	17	6,749	1	381	1	27	1	1,154	1	115	2	34	2	111	3	875	1	183	0	0	2	2	1	0	2	3,867	2.06
坂井市	15	10,061	3	200	0	0	1	142	3	2	1	0	2	3	2	13	1	3,120	1	6,581	0	0	0	0	1	0	1.66
市 計	134	210,961	11	42,377	8	26,551	17	21,368	18	13,123	13	33,657	9	228	11	3,223	9	15,016	11	6,898	9	16,392	6	10,795	12	21,333	1.98
永平寺町	3	43,900	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	20	0	0	0	0	0	0	1	43,880	1.64
池田町	3	6,581	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1,773	1	4,808	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12.36
南越前町	4	6,584	0	0	0	0	1	2,311	1	5	0	0	1	4,268	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3.92
越前町	10	15,931	0	0	1	101	2	228	2	0	0	0	1	217	0	0	0	0	0	0	2	8,789	1	6,553	1	43	4.79
美浜町	5	1,538	0	0	1	12	1	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,411	1	108	0	0	5.45
高浜町	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1.97	
おおい町	1	187	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	187	1.23	
若狭町	10	5,452	0	0	0	0	2	9	0	0	0	0	4	244	0	0	0	0	1	0	1	2,450	0	0	2	2,749	
(内訳)																											
旧三方町	5	2,520	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	1	66	0	0	0	0	1	0	1	2,450	0	0	1	0	6.97
旧上中町	5	2,932	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	3	178	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2,749	
町 計	38	80,173	1	0	2	113	6	2,555	5	5	1	0	7	6,502	1	4,808	1	20	1	0	4	12,650	3	6,661	6	46,859	4.06
県 計	172	291,134	12	42,377	10	26,664	23	23,923	23	13,128	14	33,657	16	6,730	12	8,031	10	15,036	12	6,898	13	29,042	9	17,456	18	68,192	2.23

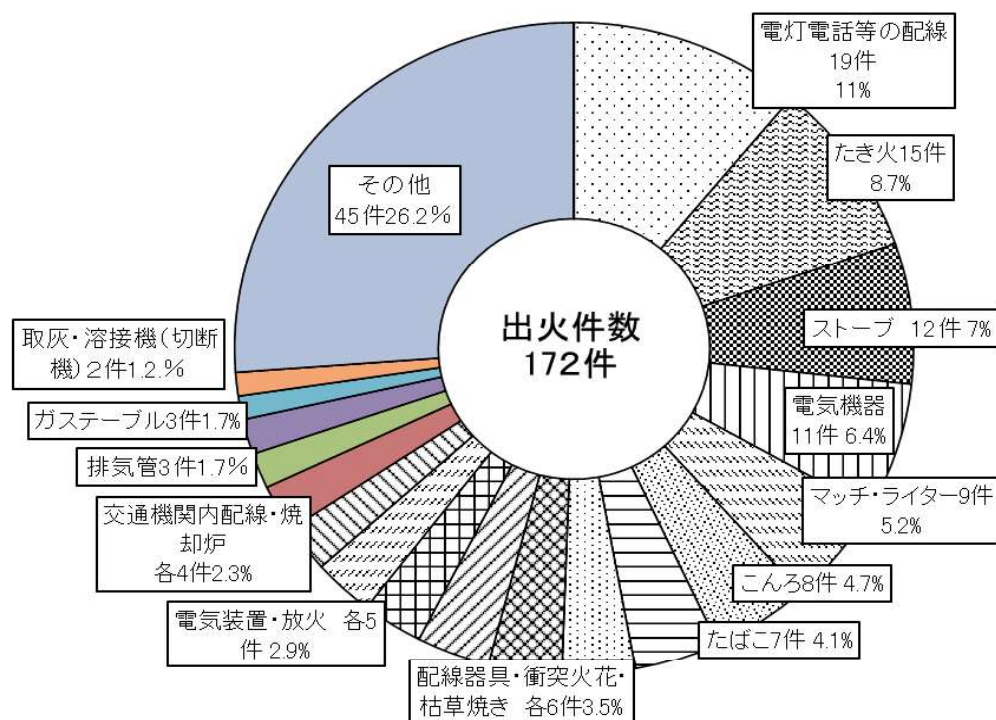
若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。
出火率(人口1万人に対する出火件数)は、令和3年3月31日現在の住民基本台帳人口により算定

第6表 全火災の出火原因別損害状況表

期間:令和4年1月1日～令和4年12月31日

出火原因	出火件数(件)	焼損床面積(㎡)	焼損棟数(棟)	り災世帯数(世帯)	損害額(千円)
電灯電話等の配線	19	776	6	11	105,184
た き 火	15	7	1	0	579
ス ト ー ブ	12	517	10	14	39,533
電 気 機 器	11	0	0	2	9,356
マッチ・ライター	9	14	0	2	1,211
こ ん ろ	8	220	7	8	13,475
た ば こ	7	2	0	4	227
配 線 器 具	6	250	0	2	15,882
衝 突 の 火 花	6	0	0	0	1,790
枯 草 焼 き	6	0	0	0	420
電 気 装 置	5	0	0	0	1,930
放 火	5	14	0	2	1,211
交通機関内配線	4	0	0	0	155
焼 却 炉	4	0	0	0	539
排 気 管	3	0	1	0	273
ガ ス テ ー ブ ル	3	4	0	2	226
取 灰	2	1	0	0	0
溶 接 機・切 断 機	2	0	0	0	0
そ の 他	45	1,813	17	30	100,329
不 明・調 査 中					
合 計	172	3,614	42	75	291,135

第6図 全火災の出火原因別状況



第7表 死者の死因別発生状況表

死因 火災種別	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折 等	自殺	その他	不明	合計(人)
建 物 火 災	5	3	0	0	0	0	8
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 火 災	0	1	0	1	0	0	2
合 計 (人)	5	4	0	1	0	0	10

第8表 死者の経過別および年齢別発生状況表

年齢別(歳) 経過別	0 ～ 5	6 ～ 10	11 ～ 20	21 ～ 30	31 ～ 40	41 ～ 50	51 ～ 60	61 ～ 64	65 ～ 70	71 ～ 80	81～	不明	合計 (人)
熟睡等により発見遅れる													0
判断力・体力条件のため											1		1
人の救助のため逃げる機会を失う							2						2
身体不自由のため逃げきれず										1	2		3
放火自殺							1			2			3
不明・調査中							1						1
合計(人)	0	0	0	0	0	0	4	0	0	3	3	0	10

第3章 救急業務の実態

1 救急体制

災害により生じた事故または屋外もしくは公衆の出入りする場所、あるいは屋内において生じた事故で、迅速に搬送する手段がない場合に傷病者を医療機関等へ搬送する業務が救急業務であるが、令和5年4月1日現在、第1表のとおり、救急自動車57台(全て高規格救急自動車)、救急隊49隊、救急隊員570名(うち救急救命士246名)で救急業務にあたっている。

2 救急医療体制

救急隊が搬送する傷病者を受け入れる救急告示医療機関数は、令和5年4月1日現在、第2表のとおり50施設である。

3 救急活動状況

救急活動状況を表したのが第3表であり、救急出場件数は32,231件、搬送人員は29,977人となっている。県内1日あたりの出場件数は88件となり、約16分に1回の割合で救急隊が出場したことになる。

過去10年間の出場件数および搬送人員の推移を表したのが第1図であり、出場件数、搬送人員ともに平成30年まで増加傾向にあったが、令和元年は災害や猛暑日が少なく平成30年との比較で3%減少した。さらに、令和2年には新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛等の影響で救急需要が大幅に減少したことから、令和元年との比較で13%減少し、出場件数と搬送人員が過去10年で最少となった。一方で、令和3年は、活動の制限が緩和されたことに伴って救急需要も増加し、令和2年との比較で10%増加した。さらに、令和4年は、令和3年との比較で12%増加し、出場件数と搬送人員が過去10年で最多となった。

出場件数、搬送人員の事故種別内訳を表したのが第2図、第3図であり、出場件数の事故種別内訳では、急病が20,946件で、全体の65%を占め、次いで一般負傷5,133件(15.9%)、交通事故1,984件(6.2%)などとなっている。搬送人員では急病が19,426人で全体の64.8%を占め、次いで一般負傷4,855人(16.2%)、交通事故1,983人(6.6%)などとなっている。

第1表 救急体制状況表

令和5年4月1日現在

消防本部名	救 急 自 動 車			救 急 隊 員						救 急 隊
	高規格 救急車	通常型	合 計	専 任 救急救命士	兼 任 救急救命士	合 計	救急救命士	救急救命士	合 計	合 計
福 井 市	11	0	11	87	60	8	0	95	60	9
大 野 市	4	0	4			45	16	45	16	4
勝 山 市	3	0	3			28	10	28	10	2
永 平 寺 町	3	0	3			34	13	34	13	2
嶺北消防組合	8	0	8			107	39	107	39	8
鯖江・丹生消防組合	7	0	7			93	33	93	33	6
南越消防組合	8	0	8			71	22	71	22	8
敦賀美方消防組合	6	0	6	12	9	25	18	37	27	5
若狭消防組合	7	0	7	7	5	53	21	60	26	5
合 計	57	0	57	106	74	464	172	570	246	49

第2表 医療機関状況表

令和5年4月1日現在

種 別 告示別	国・公立	公的	私 的		合 計
			病 院	診療所	
救急告示医療機関	8	4	28	10	50
その他の医療機関	15	7	18	431	471
合 計	23	11	46	441	521

第3表 救急活動状況表

(令和4年中)

	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 行 損 傷	急 病	その他
救 急 出 場 件 数	32,231	83	1	49	1,984	347	202	5,133	68	238	20,946	3,180
搬 送 人 員	29,977	32	1	19	1,983	334	195	4,855	62	166	19,426	2,904

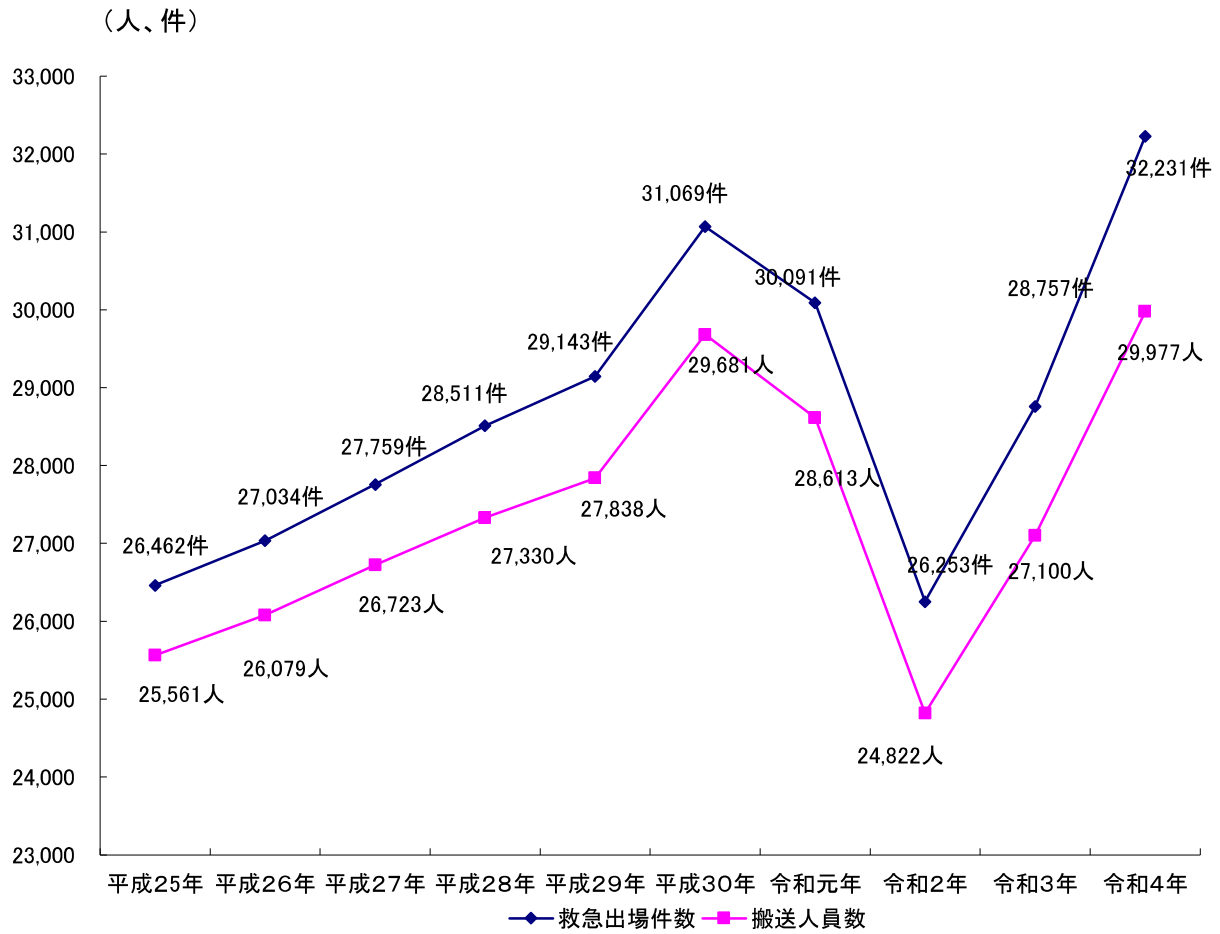
第4表 高速自動車道における救急活動状況表

(令和4年中)

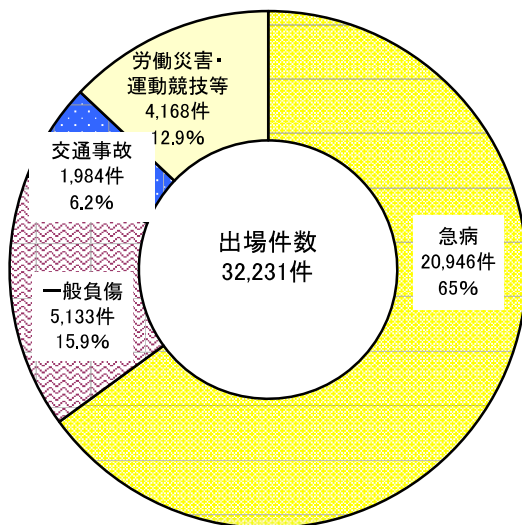
高 速 道 路 名	北 陸 自 動 車 道								小計	
担 当 消 防 本 部 名	嶺北消防組合 消防本部		福井市 消防局		鯖江・丹生消防 組合消防本部		南越消防組合 消防本部			敦賀美方消防 組合消防本部
I C 名	金 津	丸 岡	福井北	福 井	鯖 江	武 生	今 庄	敦 賀		
救 急 出 動 件 数	4	10	0	1	5	22	8	15	65	
搬 送 人 員	3	10	0	1	4	21	9	14	62	

高 速 道 路 名	舞鶴若狭自動車道									小計	計
担 当 消 防 本 部 名	敦賀美方消防組合 消防本部				若狭消防組合 消防本部						
I C 名	敦賀南	舞鶴美浜	若狭三方	三方五湖	三方五湖	若狭上中	小 浜	小浜西	大飯高浜		
救 急 出 動 件 数	0	1	0	1	0	0	4	0	2	8	73
搬 送 人 員	0	1	0	1	0	0	3	0	1	6	68

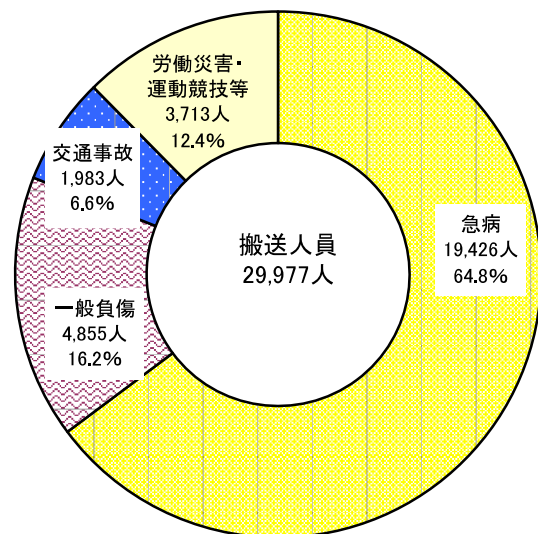
第1図 過去10年間の救急活動の推移



第2図 出場件数の事故種別内訳



第3図 搬送人員の事故種別内訳



第4章 予 防 行 政 の 概 況

1 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の人が出入りするなど一定の防火対象物について、所有者や賃借人等のうち管理について権原を有する人が、火災予防のために資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告する制度である。

この制度による令和4年4月1日から令和5年3月31日までの状況は第1表のとおりである。

第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表

防火対象物の区分			点検を要する 防火対象物数		点検報告済 防火対象物数		特例認定済 防火対象物数	
			第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当
1	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場	32		12		8	
	ロ	公会堂または集会場	220		116		56	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの						
	ロ	遊技場またはダンスホール	54		32		9	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	2	1	2			
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	2	4	1	3		
	ロ	飲食店	5	30	4	15		
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗または展示場	194	14	138	6	4	1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	37	79	20	22	8	27
6	イ	病院、診療所または助産所	37	9	16		9	4
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、精神障害者社会復帰施設等	7	5	3	4	3	
	ハ	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、精神障害者社会復帰施設（軽微）等	2	2	2	2		
	ニ	幼稚園または特別支援学校	201	32	108	7	26	1
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場						
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が上記に該当する用途に供されているもの	801	178	455	60	124	33
16の2		地下街						
合 計			1,594	354	909	119	247	66

【備考】

- 点検報告済防火対象物とは、1年に1回、防火対象物点検資格者による点検報告が必要なもので、点検の結果、点検基準に適合していると認められた防火対象物。「防火基準点検済証」を表示することができる。
- 特例認定済防火対象物とは、一定の要件を満たしているもので、申請によって点検報告の義務が3年間免除される防火対象物「防火優良認定証」を表示することができる。
- 第1号該当とは、収容人員が300人以上の防火対象物
- 第2号該当とは、収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で次の要件に該当する防火対象物
 - 特定用途部分が地階または3階以上に存するもの（避難階は除く）
 - 階段が2以上設けられていないもの
- 調査基準日…令和5年3月31日
- 調査期間……令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 消防設備士試験および講習の状況

消防設備士は、甲種・乙種合わせて617人の受験者に対して236人が合格し、合格率は38.25%であった。その状況は第2表のとおりである。

また、免状所有者に対する義務講習は650人が受講した。その状況は第3表のとおりである。

第2表 消防設備士試験実施状況表

区 分	令和 4 年度								免状交付延べ数	
	受験者数（人）		合格人数（人）		合格率（％）		免状交付数			
	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
特 類	3		0		0.0%		0		19	
第 1 類	56	23	17	8	30.4%	34.8%	18	8	1,340	366
第 2 類	18	8	2	5	11.1%	62.5%	2	4	386	118
第 3 類	23	13	6	4	26.1%	30.8%	7	3	331	78
第 4 類	144	79	42	28	29.2%	35.4%	43	24	3,017	1,260
第 5 類	18	8	9	3	50.0%	37.5%	9	3	351	138
第 6 類		154		67		43.5%		70		2,496
第 7 類		70		45		64.3%		70		3,506
計	262	355	76	160	29.0%	45.1%	79	182	5,444	7,962

第3表 消防設備士法定講習実施状況表

区 分	受 講 対 象 者 区 分	受講者数(人)	実 施 年 月 日
消 火 設 備	(甲・乙)第1類, 第2類, 第3類 消防設備士	128	令和4年7月26日(火)
避難設備・消火器	(甲・乙)第5類, (乙)第6類 消防設備士	187	令和4年7月27日(水) 令和4年 8月24日(水)
警 報 設 備	(甲・乙)第4類, (乙)第7類 消防設備士	335	令和4年7月28日(木) 令和4年7月29日(金) 令和4年 8月25日(木) 令和3年 8月20日(金)
合 計		650	

第5章 危険物規制

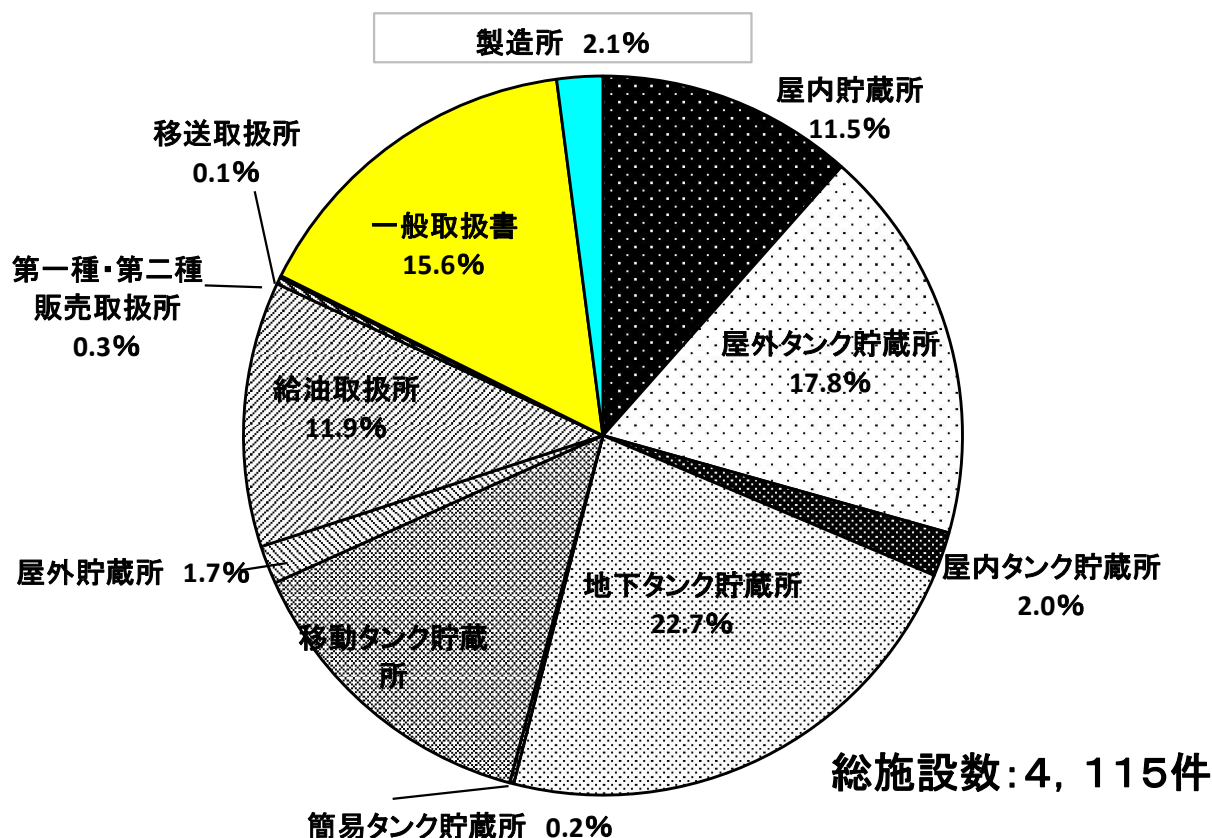
1 概況

(1) 危険物規制は、福井市、大野市、勝山市および永平寺町においては当該市町が、またその他の市町においてはそれぞれの加入する消防組合が行なっている。

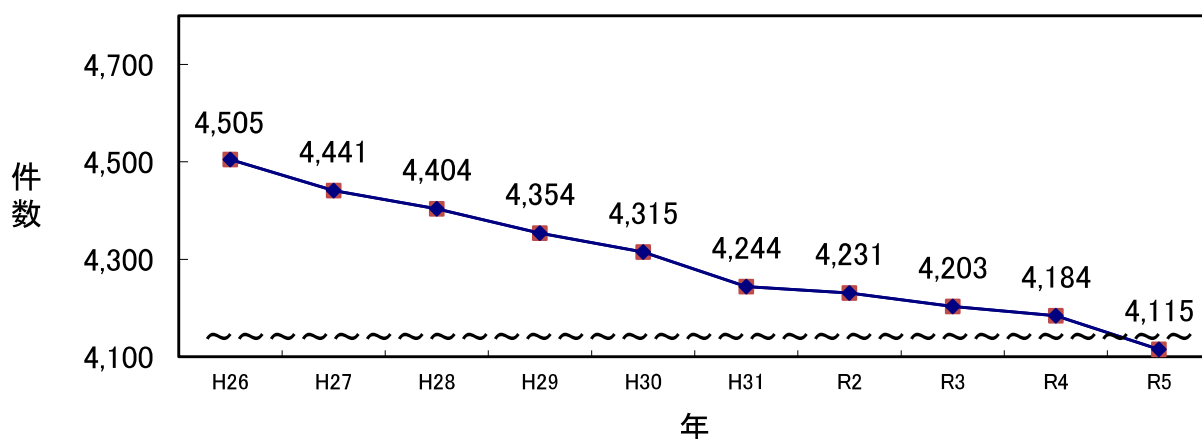
なお、県内の総施設数は第1図のとおりである。(令和5年3月31日現在)

(2) 危険物の総施設数の推移は第2図のとおり減少傾向であり、前年に対し69件減少している。

第1図 危険物施設構成比(完成検査済証交付分)



第2図 過去10年間の危険物施設の推移



第 1 表 施設別危険物施設数

令和5年3月31日現在

危険物施設の別 消防本部名	製 造 所 （A）	貯 蔵 所										取 扱 所						合 計 （A + B + C）	事 業 所
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	準 特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 （B）	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計 （C）		
福 井 市	26	109	192	5	20	27	248	1	160	18	755	125	8	0	1	136	270	1,051	496
大 野 市	0	8	16	0	0	0	49	0	31	0	104	20	0	0	0	28	48	152	92
勝 山 市	3	9	24	0	0	1	43	0	13	2	92	16	0	0	0	20	36	131	76
永 平 寺 町	0	5	4	0	0	2	19	0	12	0	42	6	0	0	0	11	17	59	35
嶺 北 消 防 組 合	35	108	189	3	34	12	158	1	106	20	594	83	0	0	2	166	251	880	296
鯖江・丹生消防組合	5	59	51	0	0	4	103	0	45	8	270	42	0	3	0	46	91	366	274
南 越 消 防 組 合	13	74	107	0	0	12	113	2	74	10	392	62	0	0	0	73	135	540	235
敦賀美方消防組合	1	54	98	7	8	15	122	0	86	10	385	87	0	0	1	97	185	571	217
若 狭 消 防 組 合	2	49	52	0	0	9	77	4	53	3	247	50	1	0	0	65	116	365	154
合 計	85	475	733	15	62	82	932	8	580	71	2,881	491	9	3	4	642	1,149	4,115	1,875

注：1 貯蔵所および取扱所の区分は危険物の規制に関する政令の区分による（以下の表においても同様）。
2 本表には、設置を許可した施設のうち、完成検査済証を交付した施設数から廃止届を受理した施設数を除いた数を記載（以下の表においても同様）
3 準特定屋外タンク貯蔵所には、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が五百キログラム以上千キログラム未満のものを記載（以下の表においても同様）
4 特定屋外タンク貯蔵所数は、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が千キログラム以上のものを記載（以下の表においても同様）
5 事業所数は、危険物施設を有する事業所の数を記載

第2表 指定数量別および類別危険物施設数

令和5年3月31日現在

危険物施設の別 数量別・類別		製 造 所 （A）	貯 蔵 所										取 扱 所						合 計 （A + B + C）
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	準 特定 屋外タンク 貯蔵所	特定 屋外タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 （B）	給 油 取 扱 所	第一 種販売 取扱所	第二 種販売 取扱所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計 （C）	
5倍以下		5	212	120			55	475	8	436	15	1,321	34	3			272	309	1,635
5倍を超えて10倍以下		12	97	94			22	219		13	28	473	52	4			160	216	701
10	〃 50 〃	32	87	251			5	161		27	27	558	130	2	3		124	259	849
50	〃 100 〃	18	20	88				36		77	2	223	66				38	104	345
100	〃 150 〃	3	32	49				24		26		131	48				14	62	196
150	〃 200 〃		9	9	1			7			1	26	56				10	66	92
200	〃 1,000 〃	15	15	58	9	3		10		1		84	104				17	121	220
1,000	〃 5,000 〃		3	22	5	17						25	1				3	4	29
5,000	〃 10,000 〃			3		3						3					2	2	5
10,000倍を超えるもの				39		39						39				2	2	4	43
合 計		85	475	733	15	62	82	932	8	580	73	2,883	491	9	3	2	642	1,147	4,115
単 独	第 1 類		6									6							6
	第 2 類	1	4							1		5					5	5	11
	第 3 類		3							579		582					5	5	587
	第 4 類	56	417	729	15	62	82	932	8		72	2,240	491	9	3	2	611	1,116	3,412
	第 5 類		14	2								16							16
	第 6 類			2								2							2
混 在		28	31								1	32					21	21	81
合 計		85	475	733	15	62	82	932	8	580	73	2,883	491	9	3	2	642	1,147	4,115

注：1 数量別の欄は、危険物施設で貯蔵または取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を指定数量の倍数によって表したものである。
2 類別の欄の単独には、類を同じくする危険物のみを貯蔵または取り扱っている危険物施設の数、混在には、類を異にする危険物を貯蔵または取り扱っている危険物施設の数に記載

第3表 危険物施設に対する立入検査状況

令和4年4月 1日から
令和5年3月31日まで

危険物施設の別 消防本部名		製 造 所 (A)	貯 蔵 所								取 扱 所						合 計 (A + B + C)
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計 (C)	
福 井 市	検査施設数	24	42	169	8	102		159	17	497	88	1		1	133	223	744
	延 回 数	35	43	175	9	103		160	18	508	92	1		1	138	232	775
大 野 市	検査施設数							31		31	3					3	34
	延 回 数							31		31	3					3	34
勝 山 市	検査施設数	3	6	13		22		14	2	57	9				14	23	83
	延 回 数	3	6	13		22		14	2	57	9				14	23	83
永 平 寺 町	検査施設数		5	4	5	19		13		46	6				11	17	63
	延 回 数		5	4	2	19		13		43	6				11	17	60
嶺 北 消 防 組 合	検査施設数	10	29	77	1	45		100	10	262	52			1	60	113	385
	延 回 数	10	29	77	1	45		100	10	262	54			1	60	115	387
鯖江・丹生消防組合	検査施設数	5	61	42	5	18			8	134	40		3		32	75	214
	延 回 数	5	61	42	5	18			8	134	40		3		32	75	214
南 越 消 防 組 合	検査施設数		12	37	3	17		64	2	135	12				10	22	157
	延 回 数		12	37	3	17		65	2	136	12				10	22	158
敦賀美方消防組合	検査施設数	1	25	72	7	27		76	5	212	73			1	59	133	346
	延 回 数	1	25	72	7	27		76	5	212	73			1	59	133	346
若 狭 消 防 組 合	検査施設数	2	30	44	11	29	2	47		163	34				32	66	231
	延 回 数	2	30	44	11	29	2	47		163	34				32	66	231
合 計	検査施設数	45	210	458	40	279	2	504	44	1,537	317	1	3	3	351	675	2,257
	延 回 数	56	211	464	38	280	2	506	45	1,546	323	1	3	3	356	686	2,288

注：1 検査施設数の欄は、立入検査を行った施設数を危険物施設の区分ごとに記載
2 延回数欄は、立入検査を行った延回数を危険物施設の区分ごとに記載

第4表の1 容量別屋外タンク貯蔵所数

令和5年3月31日現在

消防本部名 容量別	福井市	大野市	勝山市	永平寺町	嶺北消防組合	鯖江・丹生消防組合	南越消防組合	敦賀美方消防組合	若狭消防組合	合計
100kl未満	150	16	24	4	133	34	97	60	46	564
100kl ～ 500kl未満	17	0	0	0	19	17	10	23	6	92
500kl ～ 1,000kl未満	5	0	0	0	3	0	0	7	0	15
1,000kl ～ 5,000kl未満	0	0	0	0	19	0	0	8	0	27
5,000kl ～ 10,000kl未満	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
10,000kl ～ 50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50,000kl ～ 100,000kl未満	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
100,000kl以上	20	0	0	0	10	0	0	0	0	30
合計	192	16	24	4	189	51	107	98	52	733

第4表の2 品名別屋外タンク貯蔵所数

令和5年3月31日現在

品名別 容量別	第4類										第4類以外の類(B)	合計(A+B)
	原油	ナフサ	ガソリン	灯油	軽油	重油	第4石油類	アルコール類	その他	小計(A)		
100kl未満	0	0	0	68	34	154	21	59	224	560	4	564
100kl ～ 500kl未満	0	0	0	3	16	39	9	0	25	92	0	92
500kl ～ 1,000kl未満	3	0	1	0	1	7	0	0	3	15	0	15
1,000kl ～ 5,000kl未満	0	0	7	2	4	7	0	0	7	27	0	27
5,000kl ～ 10,000kl未満	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2
10,000kl ～ 50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50,000kl ～ 100,000kl未満	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	3
100,000kl以上	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	30
合計	33	0	8	75	55	210	30	59	259	729	4	733

第5表 危険物取扱者試験実施状況

区 分 種 別		令和元年度 合 格 率 (%)	令和2年度 合 格 率 (%)	令和3年度 合 格 率 (%)	令和4年度		
					受 験 者 数 (人)	合 格 者 数 (人)	合 格 率 (%)
甲 種		39.6	36.2	45.7	161	59	36.6
乙 種	第 1 類	68.3	63.2	67.4	96	65	67.7
	第 2 類	66.7	69.2	68.2	125	78	62.4
	第 3 類	70.2	70.3	75.1	153	112	73.2
	第 4 類	38.8	37.3	31.8	2,250	676	30.0
	第 5 類	71.9	70.1	75.0	137	93	67.9
	第 6 類	58.8	59.2	66.1	108	80	74.1
	小 計	46.5	45.5	41.6	2,869	1,104	38.5
丙 種		49.0	57.2	51.1	529	241	45.6
合 計		46.5	46.6	43.0	3,559	1,404	39.4

第6表 危険物取扱者保安講習実施状況

区 分 講習種別		令和元年度 受講者数 (人)	令和2年度 受講者数 (人)	令和3年度 受講者数 (人)	令和4年度	
					受講者数 (人)	講習実施回 数 (回)
給 油 取 扱 所		461	399	446	377	8
石 油 コ ン ビ ナ ー ト		51	45	37	25	1
そ の 他		1,584	1,580	1,789	1,165	10
合 計		2,096	2,024	2,272	1,567	19

- 注：1 「給油取扱所」は、給油取扱所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 2 「石油コンビナート」は、石油コンビナート等災害防止法上の特定事業所における危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 3 「その他」は、「給油取扱所」および「石油コンビナート」以外の危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

2 危険物施設の火災および漏えい事故等

- (1) 過去5年間における危険物の災害事故発生件数は、令和3年が9件と最も多い。
 (2) 過去5年間の危険物施設別の災害事故発生件数は、移動タンク貯蔵所での事故が9件と最も多い。

第7表 過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数

年	危険物施設の別 内訳	製造所 (A)	貯蔵所								取扱所						その他 (D)	合計 (A+B+C+D)
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計 (C)		
平成30年	火災									0					1	1		1
	漏えい							2		2	1					1		3
	その他	1								0	1					1		2
令和元年	火災	3								0						0		3
	漏えい							3		3						0		3
	その他							2		2						0		2
令和2年	火災									0					1	1		1
	漏えい							1		1					1	1		2
	その他									0						0		0
令和3年	火災	1								0					2	2		3
	漏えい			1		1		1		3	1				1	2		5
	その他									0	1					1		1
令和4年	火災	1								0					1	1		2
	漏えい			1						1					1	1		2
	その他									0	1					1		1
火災計		5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	10
漏えい計		0	0	2	0	1	0	7	0	10	2	0	0	0	3	5	0	15
その他計		1	0	0	0	0	0	2	0	2	3	0	0	0	0	3	0	6
総計		6	0	2	0	1	0	9	0	12	5	0	0	0	8	13	0	31

注： 危険物施設の別の「その他」には、危険物運搬中の事故または無許可の危険物施設など、許可を受けている危険物施設以外での事故件数を記載

第6章 消 防 の 概 要

1 消防の組織〈消防機関と人員〉

昭和23年消防組織法施行後、市町村消防の原則が確立され、昭和48年7月1日大野地区消防組合が発足したことにより、県下全域にわたり消防の常備化が実現した。消防吏員は令和5年4月1日現在で1,248名である。

また、消防団員数は令和5年4月1日現在で5,849名であるが、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等の課題に直面しており、消防団の充実強化を一層推進することが必要である。

2 消防施設

(1) 消防機械

消防機械の保有状況は第8表および第9表のとおりであるが、特に近年の救急需要の増加に伴い、各消防本部とも高規格救急自動車の導入を推進している。これにより、高度な救急処置を実施することができ、救命率の向上を図っている。

(2) 消防水利

消防水利は、消防機械とともに、火災鎮火のために重要不可欠なものである。

これについては、消防に必要な水利の確保と管理のため「消防水利の基準」が定められ、その基準に適合したものを消防水利としている。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と河川等の自然水利があり、その保有状況は第11表のとおりである。

3 民間防火組織

(1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期における防火教育の重要性、防火活動を通じての正しい社会的態度の養成の必要性などの観点からはじめられたもので、幼稚園、保育園の指導者を中心に消防機関の協力を得て幼年消防活動を行うことにより、父母兄弟や近隣住民に対する防火思想の普及も効果的に図られている。

(2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、少年のころから火災予防に関する知識を身に付け、学校や各家庭における火災防止を図るとともに、火に関する諸原理を実際に即して勉強し、学校教育としての社会科、理科および家庭科の学習の補助を目的とするものであつて、昭和25年に少年消防クラブ取扱要綱が制定され、続いて昭和28年に「全国少年消防クラブ運営指導協議会」(会長：消防庁長官)が設けられ、今日に至っている。

(3) 女性防火クラブ

女性防火クラブは、家庭において火を使用する機会の多い女性を対象に、火災予防の知識を養うことが必要であることから、任意に結成されたものであり、消防職団員の指導のもとに各家庭の防火診断、火災の初期活動等、重要な役割を果たしている。

4 表 彰

消防職員および消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の消防に対する正しい認識と円滑な協力援助関係を確立するため、消防に関して功労のあった消防職団員、消防機関その他の団体または個人に対し、各種表彰を行っている。

また、昭和58年より新たに県知事の定例表彰の中で、30年以上勤続の消防団員の配偶者等も表彰することにした。

5 消防の現況

第1表 消防職団員数の推移(各年4月1日現在)

区分	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
消防職員数	150	163	203	201	231	227	262	257	268	293	328	351	354	372	381	421	461	521	594
消防団員数	11,835	10,701	8,487	8,275	8,091	7,342	7,174	7,147	7,118	6,744	6,759	6,731	6,751	6,754	6,491	6,388	6,303	6,191	6,019

47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
693	743	785	785	832	851	872	895	922	937	950	974	974	982	982	983	999	1,009	1,010	1,032	1,052
5,814	5,703	5,647	5,635	5,633	5,623	5,629	5,616	5,549	5,623	5,616	5,608	5,588	5,549	5,545	5,485	5,471	5,453	5,437	5,488	5,492

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1,090	1,101	1,119	1,141	1,162	1,169	1,183	1,186	1,190	1,188	1,190	1,193	1,192	1,190	1,189	1,184	1,183	1,180	1,192	1,196	1,189
5,497	5,519	5,502	5,533	5,523	5,518	5,497	5,499	5,483	5,460	5,436	5,439	5,442	5,406	5,411	5,411	5,480	5,560	5,656	5,688	5,661

26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5
1,188	1,206	1,206	1,226	1,238	1,235	1,246	1,245	1,252	1,248
5,720	5,797	5,781	5,809	5,825	5,824	5,814	5,874	5,858	5,849

第2表 消防機関の現況

区 分		令和4年4月(A)	令和5年4月(B)	増減(B-A)
消防本部・署	消防本部数	9	9	0
	消防署数	19	19	0
	出張所数	26	26	0
	消防職員数	1,252	1,248	△4
消防団	消防団数	18	18	0
	分団数	237	237	0
	消防団員数	5,858	5,849	△9

第3表 消防の概況

令和5年4月1日現在

区分	消防本部・署所						消防団						消防水利			基地局および固定局	移動局			
	設置別		消防署数	出張所数	出	一消防吏員数	自普通消防ポンプ数	自水槽付消防ポンプ数	消防団数	消防団常備部数	団員数		自普通消防ポンプ数	小型動力ポンプ付積載車	消火栓（公設）			防火水槽		
											計	非常勤						4	2040未満	
																				常勤
消防本部名	消防本部のみ設置	消防本部署を併設	消防数	出張所数	出	一消防吏員数	自普通消防ポンプ数	自水槽付消防ポンプ数	消防団数	消防団常備部数	計	非常勤	自普通消防ポンプ数	小型動力ポンプ付積載車	消火栓（公設）	防火水槽	消防水利			
福井市	○		4	13		369	18	3	1	54	992		992	1	52	9,594	829	30	15	174
大野市		○	1	1		55	4		1	10	455		455	10	21	490	317	24	3	37
勝山市		○	1			36	3	1	1	12	294		294	2	11	437	202	13	15	42
永平寺町		○	1			39		3	1	11	343		343	10	10	184	253	11	3	27
嶺北消防組合		○	4	1		203	6	4	2	33	708		708	36	6	1,615	1,237	102	4	131
鯖江・丹生消防組合		○	1	4		124	5	1	2	36	564		564	34	3	1,663	902	37	5	254
南越消防組合		○	3	2		146	7	4	3	32	794		794	10	27	2,531	690	33	7	150
敦賀美方消防組合		○	3	1		152	3	4	3	16	740		740	23	31	1,331	235	161	8	142
若狭消防組合		○	1	4		124	6	3	4	33	959		959	9	39	1,089	525	54	6	136
計	1	8	19	26	1,248	52	23	18	237	0	5,849	0	5,849	135	200	18,934	5,190	465	66	1,093

第4表 階級別消防職員数

令和5年4月1日現在

区 分	消 防 防 職 員															条 例 定 数		
	計 (A) ＝ (B) ＋ (C)	うち女性	消 防 吏 員 (実員)										そ の 他 の 職 員					
			消 防 司 監	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	小 計 (B)	事 務 職 員	技 術 職 員	単 純 労 務 職 員		小 計 (C)	
消防本部名																		
福 井 市	377	8	()	()	1	6	25	88	57	60	73	59	369	8	()	()	8	356
大 野 市	56	3	()	()	()	()	1	6	21	8	9	10	55	1	()	()	1	55
勝 山 市	39	1	()	()	()	()	1	7	11	6	4	7	36	3	()	()	3	42
永 平 寺 町	39	1	()	()	()	()	1	5	13	5	6	9	39	()	()	()	0	45
嶺 北 消 防 組 合	205	11	()	()	1	3	7	44	39	45	33	31	203	2	()	()	2	206
鯖江・丹生消防組合	125	6	()	()	()	1	9	35	20	22	17	20	124	1	()	()	1	140
南 越 消 防 組 合	157	5	()	()	()	1	7	39	32	23	23	21	146	11	()	()	11	154
敦賀美方消防組合	153	3	()	()	()	1	13	24	28	26	31	29	152	1	()	()	1	156
若 狭 消 防 組 合	125	3	()	()	()	1	7	30	17	24	26	19	124	1	()	()	1	130
計	1,276	41	()	()	2	13	71	278	238	219	222	205	1,248	28	()	()	28	1,284

注1: 下段の()は、女性職員の内数

注2: 条例定数に含まれない派遣・出向職員および短時間勤務の再任用職員がいるため、条例定数を超えている場合がある。

第5表 階級別非常勤消防団員数

令和5年4月1日現在

階級別 消防本部名	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	条例定数
福井市	992 (45)	1 ()	8 ()	54 (2)	54 (2)	102 (4)	103 (5)	670 (32)	1,055
大野市	455 (90)	1 ()	2 ()	9 (1)	10 (2)	34 (3)	70 (6)	329 (78)	485
勝山市	294 (22)	1 ()	2 ()	12 ()	12 ()	25 (1)	33 (2)	209 (19)	299
永平寺町	343 (32)	1 ()	2 ()	11 (1)	11 (1)		34 (1)	284 (29)	412
嶺北消防組合	708 (21)	2 ()	7 ()	33 ()	52 ()	2 (2)	64 (2)	548 (17)	773
鯖江・丹生消防組合	564 (19)	2 ()	5 ()	34 ()	34 ()		84 (1)	405 (18)	647
南越消防組合	794 (44)	3 ()	9 ()	32 (2)	32 (2)		82 (5)	636 (35)	826
敦賀美方消防組合	740 (38)	3 ()	4 ()	16 ()	16 ()	53 (1)	88 (2)	560 (35)	769
若狭消防組合	959 (32)	4 ()	6 ()	33 ()	23 ()	54 (1)	94 (1)	745 (30)	970
計	5,849 (343)	18 (0)	45 (0)	234 (6)	244 (7)	270 (12)	652 (25)	4,386 (293)	6,236

注：下段の()は、女性団員の内数

第7表 在職年数別消防吏員および消防団員数

令和5年4月1日現在

年数別 消防本部名	消 防 吏 員								消 防 団 員							
	消				防				常 勤				非 常 勤			
	合 計	5 年 未 満	5 10 年 以 上 未 満	10 15 年 以 上 未 満	15 20 年 以 上 未 満	20 25 年 以 上 未 満	25 30 年 以 上 未 満	30 年 以 上	合 計	5 年 未 満	5 10 年 以 上 未 満	10 15 年 以 上 未 満	15 20 年 以 上 未 満	20 25 年 以 上 未 満	25 30 年 以 上 未 満	30 年 以 上
福 井 市	369	79	62	50	20	34	34	90	992	180	228	209	129	98	84	64
大 野 市	55	6	10	8	5	4	9	13	455	89	125	69	62	38	36	36
勝 山 市	36	4	5	3	4	4	8	8	294	49	47	54	43	47	29	25
永 平 寺 町	39	8	7	3	2	5	5	9	343	156	65	58	24	24	13	3
嶺 北 消 防 組 合	203	22	36	36	21	16	29	43	708	112	130	140	115	89	76	46
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	124	26	15	17	12	8	25	21	564	90	136	127	93	73	32	13
南 越 消 防 組 合	146	26	25	22	10	12	26	25	794	131	184	133	117	96	69	64
敦 賀 美 方 消 防 組 合	152	19	24	33	19	14	27	16	740	240	209	145	74	35	20	17
若 狭 消 防 組 合	124	17	21	27	11	11	11	26	959	396	237	154	99	46	23	4
計	1,248	207	205	199	104	108	174	251	5,849	1,443	1,361	1,089	756	546	382	272

第8表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部および署)

令和5年4月1日現在

区分	消防本部・署 現有																															
	消防本部名	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車 (ポンプ付でないものを含む)			消防折はポンプしご自動車付	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防ポンプ自動車	指揮車	照明車	積小型動力ポンプ付車	ポ小型動力ポンプ	広報車		資器材搬送車	屈折放水塔車	水槽車	支援車	人員搬送車	防災指導車	救急自動車	救助工作車	その他車両							
		18m級	24m級	30m級	38m級																											
福井市消防局	17	3	2	1	1	1		1	1	3	5			7	6	4				1	1		11 (11)	2	8							
大野市消防本部	4			1						1	1					3		1					4 (4)	1	1							
勝山市消防本部	3	1									1				1	1							3 (3)	1	2							
永平寺町消防本部		3									1			2		1						1 (3)	1									
嶺北消防組合	6	4					2		1	4	5			4	1	5				1			8 (8)	3	9							
鯖江・丹生消防組合	5	1			1					1	2				7	2			1		2		7 (7)	1	1							
南越消防組合	7	4			1					2	3			1	7	5	1	1	1	1			8 (8)	3								
敦賀美方消防組合	3	4	1				1			2	1				6	3	5		1	1			6 (6)	1	9							
若狭消防組合	7	3			1					1	1				5	2					1		7 (7)	1	1							
計	52	23	3	1	3	3	1	2	14	20	0	0	26	30	28	1	4	4	5	1	57 (57)	14	31									

注:救急自動車の()は高規格救急自動車で内数

第9表 消防ポンプ自動車等現有数（消防団）

令和5年4月1日現在

種 別 消防本部名	消 防 団 現 有			
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	
			小型動力ポンプ付積載車	車両に積載していないもの
福 井 市	1		52	
大 野 市	10		20	4
勝 山 市	2		12	
永 平 寺 町	10		10	
嶺 北 消 防 組 合	35		6	6
鯖江・丹生消防組合	30	4	3	
南 越 消 防 組 合	12		25	39
敦賀美方消防組合	21		34	3
若 狭 消 防 組 合	9		37	32
計	130	4	199	84

第10表 化学消火薬剤備蓄状況

令和5年4月1日現在

種 別	計		化学消火剤種別												
	(A) (kg) (ア)～(オ)	(B) (kg) (カ)～(ケ)	たん白系		合成界面	水成膜泡	水溶性液体用泡	粉末(kg)							
			3%型 (kg) (ア)	6%型 (kg) (イ)	活性剤 (kg) (ウ)	消火薬剤 (kg) (エ)	消火薬剤 (kg) (オ) (耐アルコール用)	第1種 粉 末 (カ)	第2種 粉 末 (キ)	第3種 粉 末 (ク)	第4種 粉 末 (ケ)				
消防本部名															
福 井 市	15.53	0.00	10.90	0.09	1.63	2.57	0.34								
大 野 市	1.79	0.00			0.60	1.19									
勝 山 市	0.80	0.00			0.80										
永 平 寺 町	0.50	0.00			0.50										
嶺 北 消 防 組 合	27.32	0.00	5.06		3.62	18.64									
鯖江・丹生消防組合	4.48	0.00			2.46	2.02									
南 越 消 防 組 合	3.04	0.00			1.08	1.96									
敦賀美方消防組合	1.75	0.00	0.20		1.01	0.54									
若 狭 消 防 組 合	1.34	0.00			1.34										
計	56.55	0.00	16.16	0.09	13.04	26.92	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

第11表 消防水利の状況

令和5年4月1日現在

種 別	計	消火栓			小計(C) (D)+(E)				公設 (D)				私設 (E)				その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
					防火水槽				井戸				防火水槽				井戸				小計	河川・溝等	海・湖	プ・池	下	そ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		100	60	40	20	100	60	40	20	100	60	40	20	100	60	40	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		(A)	＝	(B)	+	(C)	小計	公設	私設	m ³ 以上	m ³	m ³	m ³	未満	m ³ 以上	m ³	m ³	未満	m ³ 以上	m ³							m ³	未満	未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
消防本部名					(B)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

第12表 消防機関の出動状況

令和4年中

区分	種別	県計 (ア)～(サ)	火災 (ア)	風水害 等の 災害 (イ)	演習 訓練 (ウ)	広報 指導 (エ)	警防 調査 (オ)	火災 原因 調査 (カ)	特別 警戒 (キ)	捜索 (ク)	予防 査察 (ケ)	誤報等 (コ)	その他 (サ)
消防本部・署所	出動回数	18,955	164	132	2,726	2,486	5,195	226	1,440	11	4,536	119	1,920
	出動延人数	61,035	2,317	446	12,961	6,753	14,501	1,077	4,379	137	11,985	1,474	5,005
消防団	出動回数	4,317	90	22	1,345	335	23	0	399	1	0	34	2,068
	出動延人数	33,020	1,417	186	16,353	2,956	289	0	3,666	2	0	173	7,978

第13表 消防吏員および団員の公務による死傷者数

令和4年中

区分	種別	県計 (ア)～(キ)	火災 (ア)	風水害 等の 災害 (イ)	救急 業務 (ウ)	演習 訓練 (エ)	特別 警戒 (オ)	捜索 (カ)	その他 (キ)
消防吏員	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	8	1	0	2	3	0	0	2
消防団	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	7	0	0	0	7	0	0	0

第14表 火災通報施設等の現況

令和5年4月1日現在

区分 消防本部名	火災報知機			テレビ監視装置			望楼			電話					救急指令装置	
	受信機 (基)	発信機		小計 (ア)+(イ) (基)	公衆用 (ア) (基)	自衛用 (イ) (基)	小計 (ウ)+(エ) (基)	24時間 監視を しているもの (ウ) (基)	その他 (エ) (基)	小計 (オ)+(カ)+(キ) (回線) (回線)	火災報知 専用電話 (オ) (回線) (回線)	消防機関にあるもの		加入電話 (キ) (回線)	救急指令専用	消防 指令装置と併用
		小計 (ア)+(イ) (基)	公衆用 (ア) (基)	自衛用 (イ) (基)								火災報知 専用電話 (オ) (回線) (回線)	消防電話 1ヶ月あたりの経費 (カ) (回線) (千円)			
福井市		0					0			294	18	203	160	73		1
大野市		0					0			32	9	2	5	21		
勝山市		0					0			19	16			3		
永平寺町		0					0			17	8			9		1
嶺北消防組合		0					0			37	2			35		
鯖江・丹生消防組合		0					0			60	13	5	233	42	1	1
南越消防組合		0					0			55	12	2		41		
敦賀美方消防組合		0					0			43	13	4	252	26		
若狭消防組合		0					0			48	8	8		32		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	605	99	224	650	282	1	3

第15表 無線通信施設等の現況

令和5年4月1日現在

令和5年4月1日現在

種 別 消防本部名	消 防 ・ 救 急 業 務 用 無 線 （ デ ジ タ ル 方 式 ）												携 帯 電 話 等		
	固 定 局			基地局および携帯基地局						移 動 局		その他の無線局数	衛星携帯電話保有数	救急車および救急隊	うち災害時 優先電話
	局 数		局「その他」の電波の数	局 数		電 波 の 数				陸上移動局数	携帯局数				
	多重	その他		基地局	携帯基地局	統制波	主運用波	活動波	防災相互波						
福 井 市	6			9		3	1	5		174			4	11	11
大 野 市				3		3	1	2		37			2	4	4
勝 山 市		12	12	3		3	1	2		42			1	2	2
永 平 寺 町				3		3	1	2		27			1	3	3
嶺 北 消 防 組 合				4		3	1	3		131			1	9	4
鯖江・丹生消防組合				5		3	1	2		254			3	6	6
南 越 消 防 組 合				7		3	1	3		150			5	8	8
敦賀美方消防組合				8		3	1	2		142			3	6	5
若 狭 消 防 組 合				6		3	1	2	1	136			1	6	6
計	6	12	12	48	0	27	9	23	1	1,093	0	0	21	55	49

第16表 幼年消防クラブの現況

令和5年4月1日現在

種 別	組 織 別 ク ラ ブ 数						組 織 別 ク ラ ブ 員 数						指 導 者 数			
	計	幼稚園 保育園 単 位	学 校 単 位	市 町 単 位	地 区 単 位	その他	計	幼稚園 保育園 単 位	学 校 単 位	市 町 単 位	地 区 単 位	その他	計	幼稚園 保育園 単 位	学 校 単 位	その他
消防本部名																
福 井 市	2	2					32	32					11	11		
大 野 市	14	14					923	923					14	14		
勝 山 市	12	12					395	395					52	52		
永 平 寺 町	10	10					572	572					59	59		
嶺 北 消 防 組 合	45	45					3,858	3,858					45	45		
鯖江・丹生消防組合	38	38					1,420	1,420					94	94		
南 越 消 防 組 合	35	35					751	751					35	35		
敦賀美方消防組合	36	36					2,382	2,382					36	36		
若 狭 消 防 組 合	1	1					31	31					4	4		
計	193	193	0	0	0	0	10,364	10,364	0	0	0	0	350	350	0	0

第17表 少年消防クラブの現況

令和5年4月1日現在

種 別	組 織 別 ク ラ ブ 数					組 織 別 ク ラ ブ 員 数					指 導 者 数		
	計	学 校 単 位		市 町 単 位	区 単 位	その他	計	学 校 単 位		計	学 校 単 位		その他
		小学校	中学校					小学校	中学校		小学校	中学校	
消防本部名													
福 井 市	50	50					2,390	2,390		134	134		
大 野 市	13	9	4				503	421	82	13	9	4	
勝 山 市	15	3			3	9	762	312		47	9		38
永 平 寺 町	10					10	203			48			48
嶺 北 消 防 組 合	26	26					994	994		26	26		
鯖江・丹生消防組合	20	20					2,386	2,386		100	100		
南 越 消 防 組 合	21	21					761	761		21	21		
敦賀美方消防組合	10	10					308	308		10	10		
若 狭 消 防 組 合	0						0			0			
計	165	139	4	0	3	19	8,307	7,572	82	399	309	4	86

第18表 女性防火クラブの現況および活動状況

令和5年4月1日現在

種 別	合 計		周 囲 の 状 況								活 動 状 況 別 組 織 数		
			市街地		農山村地域		漁村地域		その他		消火活動 を行う	消火活動は 行わないが、 炊き出し、連 絡、救護等を行 う	(a)(b)は行 わず、予防の 啓蒙活動を行 っている
	組織数 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)	人 員 (カ)+(キ)+(ク)+(ケ)	組織数 (イ)	人 員 (キ)	組織数 (ウ)	人 員 (ク)	組織数 (エ)	人 員 (ケ)					
消防本部名													
福 井 市	36	872	17	319	17	481	2	72		6			30
大 野 市	0	0			0	0				0			
勝 山 市	7	58	2	28	5	30				7			
永 平 寺 町	1	16	1	16									1
嶺 北 消 防 組 合	2	494	2	494									2
鯖江・丹生消防組合	21	960	7	152	11	373	3	435		11			10
南 越 消 防 組 合	15	173	11	110	4	63					15		
敦賀美方消防組合	6	1,368	2	1,332	2	28	2	8		4	2		
若 狭 消 防 組 合	11	165			7	121	4	44		11			
計	99	4,106	42	2,451	46	1,096	11	559	0	39	17		43

第 19 表 消防表彰受賞状況

種 類 \ 年 度		平25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
叙 勲		22	23	21	22	23	21	23	21	20	23
藍 綬 褒 章		3	3	2				3	1	1	2
消 防 庁 長 官 表 彰	功 労 章	2	2	1	1	1				1	1
	永 年 勤 続 功 労 章	21	21	22	22	23	23	23	24	23	25
	表 彰 旗										
	竿 頭 綬	1	1	1							
	消防団 地域活動	消 防 団	1	1	1	1				1	
		事 業 所			1		1	4		1	1
	少 年 消 防 クラブ	表 彰 旗	1								
		表 彰 楯		1	1	1	1	1	1	1	1
		指 導 者									
	功 労 章		40	40	40	40	40	40	39	40	40
福 井 県 知 事 表 彰	永 年 勤 続 精 績 章		154	177	132	168	149	154	137	120	143
	銀 杯		71	73	49	55	67	58	68	47	54
	感謝状	退 職 幹 部	33	16	49	23	20	17	19	20	25
		人 命 救 助 そ の 他									
		配 偶 者 等 表 彰	26	33	33	31	26	47	44	36	49
	竿 頭 綬		35	46	46	47	49	52	45	49	54
	特 別 功 労 章										

第7章 消防教育訓練

1 消防学校の概要

(1) 沿革

昭和34年7月16日 福井市水越町に福井県消防学校設置
 昭和47年11月1日 福井市合谷町へ移転
 平成8年4月1日 福井市大畑町へ再移転、現在に至る。

(2) 施設概要

ア 所在地等 (ア) 所在地 福井市大畑町97-21-3
 (イ) 敷地面積 40,759.02㎡

イ 建物工作物等

建物構造および規模

・ 敷地面積 40,759.02㎡ ・ 建物延面積 8,001.62㎡

名 称	規模・構造	延べ面積(㎡)	内 容
教育管理棟 宿泊施設(3階)	R C 造 3 階	3,249㎡	1階 校長室 講師控室 職員室 会議室 女性専用寮室(2室) 宿直室 2階 普通教室(60人)(40人) 談話室 図書室 視聴覚室 理化学室(各種実習室併設) 等 3階 寮室(20室) トレーニングルーム 娯楽室
体 育 館	鉄骨造2階建	2,106.25㎡	1階 食堂 学生ホール 和室 倉庫 2階 アリーナ
雨天訓練場	鉄骨平屋建	1,091.22㎡	訓練場(救助、ポンプ操法訓練施設) 訓練資器材庫 訓練車両庫
訓練塔(主)	S R C 造 地下1階建 地上8階建	594.84㎡	立坑訓練室 耐煙迷路室 消火設備実験室 垂直救助訓練 水平ロープ渡過 ブリッジ救出訓練施設 放水訓練室 水平救助・担架吊り下げ救出訓練施設 梯子車注水訓練室 積載梯子上救出訓練施設 梯子車進入訓練室 高所活動・人命検索訓練施設 救助袋等避難器具取扱訓練室 地下火災実験室
訓練塔(補助)	鉄 骨 造 地 上 7 m	A塔 70.44㎡ B塔 32.86㎡	人命救助訓練施設 引上救助訓練施設 中高層建物防御訓練施設 斜め救助訓練施設 障害突破 垂直降下訓練施設
水難訓練用プール (兼、潜水訓練)	F R P 製	25m×5コース 水深1.5m～3.0m 容量630m³ 採水口4箇所(ポンプ車用) 機械室・便所(34.43㎡)	
その他施設			油火災消火訓練施設(耐火レンガ造) 直径3m×高さ0.5m 防火訓練壁 幅14m×高さ4m 受水槽20㎡ 煙道訓練施設 間口1.0m×1.0m 模擬火災訓練家屋(可搬式プレハブ型模擬ハウス) 山岳救助訓練施設(25m×60m)
屋外訓練場		7,800㎡(120m×65m) 1周200mグラウンド	

2 教育訓練

消防職団員の各種教育訓練を第1表および第2表のように実施し、人的消防力の充実に向上を図るとともに、より高度の専門的知識を修得させた。
 また、第3表のとおり消防大学校へ職員を派遣した。

第1表 令和4年度 消防本部別受講者数

区分	項目	実施年月日	教育 実日数	延時間	消防本部							名					
					福井	敦賀美方	南越	若狭	大野	勝山	鯖江丹生		嶺北	永平寺	その他	合計	
消防職員	教育訓練の種類																
	初任教育(第57期)	R4 4. 5～9. 28	115	798	12	4	4	2	2	2	2	3	6	1			36
		初級幹部科	隔年実施につき未実施														
		中級幹部科 (第33期)	R4 12. 5～12. 13	7	49	2	2	1	2	1	1	2	2	1			14
	上級幹部科	中止															
	専科教育	警防科 (第39期)	R4 11. 15～11. 29	10	70	2	2	2	2	1	1	2	4	1			17
		特殊災害科	隔年実施につき未実施														
		予防査察科 (第18期)	R5 2. 2～2. 15	10	70	4	2	2	2	1	1	2	2	1			17
		危険物科 (第36期)	R5 1. 11～1. 19	7	49	4	2	2	2	1	1	2	4	1			19
		火災調査科	隔年実施につき未実施														
		救助科 (第46期)	R4 10. 5～11. 8	23	161	2	2	2	2	1	1	1	4	1			16
	特別教育	救急科 (第30期)	R5 1. 26～3. 17	36	252	4	4	4	4		1	5	8	3	1		34
		水難救助科 (第26期)	R4 8. 23～9. 7	12	84	2	3	1	2			2	4	1			15
特別講座等		(下記公開講座に記載)	4	16													
操法指導員教育		R4 4. 14～4. 15	2	14	5	4	4	4	2	4	4	4	3			34	
起震車操作員教育(新規養成)		R4 5. 31	1	3	4	4	2	2	1	2	4	4				23	
小計			227	1,566	41	29	24	24	10	14	27	42	13	1		225	
消防団員	初級幹部科	R4 11. 12～11. 13	2	12	5	8	2	9	7	1	4	3	2			41	
	指揮幹部科																
	現場指揮課程	R4 11. 26～11. 27	2	14	2	6	3	4	3	1	1	2	2			24	
		分団指揮課程	R4 12. 10～12. 11	2	10	3	5	3	7	1	2	4	3	2			30
	消防団員指導員教育(日消)	R4 11. 5～11. 6	2	12	1	3	3	4	1	1	2	2	1			18	
	小計		8	48	11	22	11	24	12	5	11	10	7			113	
	自主防災組織指導員教育	R4 10. 3	1	4										14		14	
	女性防火クラブ員教育	R5 3. 5	1	6	14		4	2		2	6	5				33	
	小計		2	10	14		4	2		2	6	5		14		47	
	合計		237	1,624	66	51	39	50	22	21	44	57	20	15		385	
	公開講座	警防科	R4 11. 21	1	4	3	4	4	4	2	2	2	3	1			25
		中級幹部科	R4 12. 8	1	4	8	6	10	2	1	2	4	3	1			37
		予防査察科	R5 2. 7	1	4	10	3	8	4	2	2	2	4	3			38
救急科		R5 3. 7	1	4	4	4	4	3	2	4	4	4	2			31	
公開講座	合計		4	16	25	17	26	13	7	10	12	14	7		131		
総計	合計		241	1,640	91	68	65	63	29	31	56	71	27	15		516	

第2表 令和4年度 消防学校教育訓練実施状況

区 分	項 目 教育訓練の種類		入校者数	教育実日数	教育時間数	担当講師別時間数			
						学 校	県	消 防	専 門
消 防 職 員	初任教育(第57期)		36	115	798	496	47	206	49
	幹部教育	初級幹部科							
		中級幹部科(第33期)	14	7	49	7	5	25	12
		上級幹部科							
	専科教育	警防科(第39期)	17	10	70	16	7	21	26
		特殊災害科							
		予防査察科(第18期)	17	10	70	6	4	53	7
		危険物科(第36期)	19	7	49	5	8	25	11
		火災調査科							
		救助科(第46期)	16	23	161	17	8	109	27
		救急科(第30期)	34	36	252	14	6	61	171
	特別教育	水難救助科	15	12	84	3		81	
		操法指導員教育	34	2	14	2		12	
		起震車操作員教育(新規養成)	23	1	3	3			
	小 計		225	223	1,550	569	85	593	303
消 防 団 員	初級幹部科		41	2	12	5			7
	指揮幹部科								
		現場指揮課程	24	2	14	1		13	
		分団指揮課程	30	2	10	8	2		
	消防団指導員教育(日消)		18	2	12	11	1		
	小 計		113	8	48	25	3	13	7
そ 一 の 般 他	自主防災組織指導員教育		14	1	4	4			
	女性防火クラブ員教育		35	1	6	5			1
	小 計		49	2	10	9			1
合 計			387	233	1,608	603	88	606	311
公 開 講 座	警防科		25	1	4				4
	中級幹部科		37	1	4				4
	予防査察科		37	1	4				4
	救急科		33	1	4				4
	公 開 講 座 合 計		132	4	16				16
総 合 計			519	237	1,624	603	88	606	327

第3表 令和4年度消防大学校派遣者数

学 科	派遣者数	備 考
幹 部 科	(第69期)	1 鯖江・丹生消防
	(第70期)	1 南越消防
	(第71期)	1 敦賀美方消防
上 級 幹 部 科	(第86期)	1 消防学校
警 防 科	(第110期)	1 嶺北消防
	(第111期)	1 消防学校
救 助 科	(第85期)	1 若狭消防
救 急 科	(第84期)	1 永平寺町消防
予 防 課	(第113期)	1 福井市消防
火 災 調 査 科	(第42期)	1 嶺北消防
新 任 教 官 科	(第16期)	1 福井市消防
指 揮 隊 長 コ ー ス	(第27回)	1 嶺北消防
高度救助・特別高度救助コース	(第12回)	1 福井市消防
N B C コ ー ス	(第12回)	1 福井市消防
航 空 隊 長 コ ー ス	(第22回)	1 防災航空事務所
危機管理・国民保護コース	(第12回)	1 福井市
査察業務マネジメントコース	(第6回)	1 鯖江・丹生消防
合 計	17	

防 災 編

第1章 災害の発生状況

1 令和4年中の災害発生状況

(1) 人的被害

死者0人、重傷者11人、軽傷者13人

(2) 住家被害

全壊8棟、半壊71棟、一部破損12棟、床上浸水84棟、床下浸水193棟

第1表 令和4年中の災害発生状況

発生年月日				災害名		大雪	大雪	大雪／雪崩	大雪	暴風	台風4号	8月3日からの大雨	台風14号	大雪	計
区分				1月6日～26日	2月7日	2月17日～18日	2月21日～24日	3月26日	7月1日～6日	8月4日～5日頃	9月17日～20日頃	12月19日～24日			
人的被害	負傷者	重傷	人	6		2	2	1							11
		軽傷	人	5	1	1	1						5		13
住家被害	全壊		棟								8				8
	半壊		棟					1		70					71
	一部破損		棟					2		4	4	2			12
	床上浸水		棟						2	82					84
	床下浸水		棟						11	182					193
	その他		棟							13					13
その他	田	流失・埋没	ha							106.12					106.12
	道路		箇所			1				116					117
	橋りょう		箇所							3					3
	河川		箇所						1	99					100
発生年月日				災害名		大雪	大雪	大雪／雪崩	大雪	暴風	台風4号	8月3日からの大雨	台風14号	大雪	計
区分				1月6日～26日	2月7日	2月17日～18日	2月21日～24日	3月26日	7月1日～6日	8月4日～5日頃	9月17日～20日頃	12月19日～24日			
その他	砂防		箇所							1	77				78
	水道		戸								1,093				1,093
その他	農業用施設		箇所								140				140
	林道		箇所								108				108
	水産業施設		箇所								2				2
	上下水道		箇所								7				7
	産業団地法面		箇所								1				1
	頭首工		箇所								1				1
	ダム小放流ゲート		箇所								1				1
	牧場放牧地法面		箇所								1				1
り災世帯数		世帯						1	2	158					161
り災者数		人						1	3	497					501
農林水産業施設		千円								1,805,450					1,805,450
公共土木施設		千円				19,795			24,305	11,272,162					11,316,262
その他の公共施設		千円								97,238					97,238
公共施設被害市町村数		団体				1			2	9					12
その他被害		千円								33,375					33,375
被害総額		千円		0	0	19,795	0	0	24,305	13,208,225	0	0			13,252,325
都道府県		設置								8月5日					
災害対策本部		解散								8月22日					
災害対策本部設置市町											4				4
災害救助法適用市町											1				1
消防職員出動延人数		人		50	3	12	10	8	69	238	4	15			409
消防団員出動延人数		人								163					163

2 過去5年間の災害発生状況（平成30年～令和4年）

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2018 (平30) 1.12～14	大雪	(1)人的被害 死者 1人 重傷 4人 軽傷 8人 (2)住家被害 一部損壊 1棟 (3)農産被害 24,314千円	1月中旬から2月中旬にかけて、強い寒気が周期的に入った。 特に、2月3日から8日は強い冬型の気圧配置が続いたため、嶺北を中心に記録的な大雪となった。 嶺北では5日夜遅くから6日昼前にかけて1時間に5cmを超える強い雪が断続的に降り、6日10時までの12時間で50cm前後の降雪量を観測した所があった。 7日15時には福井市の積雪がこの期間の最深の147cmに達し、昭和56年の豪雪(196cm)以来の大雪となった。 8日午後から10日は一時的に冬型の気圧配置は緩んだが、11日から13日前半にかけて再び冬型の気圧配置が強まり、嶺北中心に大雪となった。 (最深積雪(2017年12月～2018年2月)) 福井 147cm(2月7日) 武生 130cm(2月13日) 大野 177cm(2月13日) 九頭竜 301cm(2月13日) 今庄 162cm(2月13日) 敦賀 57cm(2月8日) 小浜 48cm(2月8日) (大雪警報発表日) 1月11日、1月12日、1月13日、1月24日、 2月4日、2月5日、2月6日、2月7日、 2月8日、2月12日、2月13日
2018 (平30) 2.5～22	大雪	(1)人的被害 死者 12人 重傷 26人 軽傷 94人 (2)住家被害 全壊 1棟 半壊 6棟 一部破損 542棟 床下浸水 7棟 (3)非住家被害 公共建物 6棟 その他 121棟 (4)その他 学校 26箇所 (5)その他 道路 1箇所 (6)その他 橋梁 1箇所 (7)公立文教施設被害 5,627千円 (8)農林水産業施設被害 205,417千円 (9)公共土木施設被害 309,201千円 (10)その他公共施設被害 35,588千円 (11)その他被害 1,027,460千円 (12)災害対策本部設置市町 福井市、大野市、勝山市、 鯖江市、あわら市、越前市、 坂井市、永平寺町	
2018 (平30) 3.5	大雪	(1)人的被害 死者 1人 (2)住家被害 一部破損 1棟	
2018 (平30) 3.8	融雪	(1)その他 道路 1棟 (2)公共土木施設被害 19,051千円	
2018 (平30) 3.22～23	融雪	(1)その他 道路 1棟 (2)公共土木施設被害 17,722千円	
2018 (平30) 7.4～12	大雨	(1)住家被害 一部破損 4棟 床上浸水 3棟 床下浸水 18棟	4日は台風第7号が日本海を北東に進み、その後、8日にかけて梅雨前線が本州付近に停滞した。

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
		(2)非住家被害 その他 1 棟 (3)その他 学校 2 箇所 (4)その他 道路 26 箇所 (5)その他 河川 37 箇所 (6)その他 港湾 15 箇所 (7)その他 崖崩れ 2 箇所 (8)電気被害 24 戸 (9)公立文教施設被害 450 千円 (10)農林水産業施設被害 101,733 千円 (11)公共土木施設被害 2,638,337 千円 (12)その他の公共施設被害 458 千円 (13)その他被害 1,157 千円 (14)災害対策本部設置市町 敦賀市、大野市、あわら市、越前市、永平寺町、南越前町、越前町、高浜町	日本付近には暖かく湿った空気が供給され続けたため、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となった。 福井県では、多い所では 4 日から 8 日までの総降水量が 400mm を超える大雨となった。 (4 日から 8 日までの総降水量) 九頭竜 424.5mm、三国 417.0mm、越廼 330.0mm 三国、越廼、勝山、武生、今庄、美浜、大飯では 7 月の日降水量の極値を更新した。 (極値を更新したアメダス) 三国(7 日:164mm)、越廼(7 日:193mm)、勝山(5 日:178mm)、武生(5 日:183mm)、今庄(5 日:161mm)、美浜(5 日:131.5mm)、大飯(7 日:151mm)、 平成 30 年 6 月 28 日以降の台風第 7 号や梅雨前線の影響によって、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、気象庁は、この大雨の名称を「平成 30 年 7 月豪雨」と定めた。
2018 (平30) 8.24	台風 20号	(1)人的被害 軽傷 3 人 (2)住家被害 一部破損 24 棟 (3)非住家被害 公共建物 1 棟 その他 1 棟 (4)田 冠水 3.0ha (5)その他 学校 2 箇所 (6)その他 道路 17 箇所 (7)その他 鉄道不通 1 箇所 (8)その他 被害船舶 3 隻 (9)電気被害 20 戸 (10)公立文教施設被害 1,296 千円 (11)農林水産業施設被害 146 千円 (12)公共土木施設被害 20,992 千円 (13)その他の公共施設被害 715 千円 (14)その他被害 1,100 千円 (15)災害対策本部設置市町 小浜市、鯖江市	台風第 20 号は、23 日は、四国の南海上を北上し、強い勢力で暴風域を伴ったまま 23 日 21 時頃に徳島県南部に上陸した。その後も暴風域を伴ったまま四国から近畿地方を北上し、24 日 2 時に日本海に抜けた後、15 時に秋田県沖で温帯低気圧に変わった。 (日最大風速(24 日)) 福井 17.4m/s(南東) 00 時 49 分 敦賀 21.3m/s(南南東)03 時 00 分 (日最大瞬間風速(24 日)) 福井 29.5m/s(南) 03 時 16 分 敦賀 37.5m/s(南東)00 時 50 分
2018 (平30) 9.4～5	台風 21号	(1)人的被害 重傷 1 人 軽傷 6 人 (2)住家被害 半壊 4 棟 一部破損 115 棟 (3)非住家被害 公共建物 1 棟 その他 8 棟 (4)その他 学校 12 箇所 (5)その他 道路 9 箇所	台風第 21 号は暴風域を伴い非常に強い勢力を維持して 4 日 12 時頃に徳島県南部に上陸した。 その後も暴風域を伴ったまま北北東に進み、14 時頃に兵庫県神戸市付近に再上陸した。 15 時には若狭湾に達し、日本海を北上した後、5 日 9 時に間宮海峡で温帯低気圧に変わった。

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
		(6)その他 河川 6箇所 (7)その他 砂防 1箇所 (8)その他 鉄道不通 1箇所 (9)その他 被害船舶 1隻 (10)電気被害 5,200戸 (11)公立文教施設被害 7,674千円 (12)農林水産業施設被害 10,142千円 (13)公共土木施設被害 76,052千円 (14)その他の公共施設被害 82,999千円 (15)その他被害 2,792千円 (16)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、 永平寺町、南越前町	(日最大風速(4日)) 福井 21.8m/s(南南東)15時59分 敦賀 26.3m/s(南南東)15時29分 (日最大瞬間風速(4日)) 福井 37.9m/s(南) 16時22分 敦賀 47.9m/s(東南東)15時00分
2018 (平30) 9.30～ 10.1	台風 24号	(1)住家被害 一部破損 3棟 (2)その他 砂防 1箇所 (3)その他 鉄道不通 1箇所 (4)電話被害 6回線 (5)公共土木施設被害 7,430千円 (6)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、 永平寺町、南越前町、高浜町	台風第24号は、四国の南海上を北東に進み、非常に強い勢力を維持して30日20時頃に和歌山県田辺市付近に上陸した。 その後も暴風域を伴ったまま更に速度を速めて東海、関東甲信、東北地方を北東に進み、10月1日12時に日本の東海上で温帯低気圧に変わった。 (日最大風速) 福井 12.0m/s(北北西)1日00時27分 敦賀 21.8m/s(北北西)30日23時49分 (日最大瞬間風速) 福井 23.7m/s(北) 1日00時08分 敦賀 30.8m/s(北北西)30日23時42分
2017 (平29) 12.25～ 2019 (平31) 1.4	地滑り	(1)公共土木施設被害 1,157,665千円	福井市蔵作町の主要地方道武生美山線において、12月25日に一次崩壊が発生し、12月29日から1月3日にかけて斜面が高さ85m、巾60m、深さ10mにわたる地すべりによって、約1万㎡の土砂が道路を寸断した。 12月25日～29日まで片側交互通行を行っていたが、12月29日から平30年1月4日までは全面通行止め。迂回路の設置完了に伴い、1月4日から片側交互通行とし、付替道路の設置完了に伴い、令和3年7月7日から対面通行を開始した。

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2019 (令元) 8.16	台風 10号	(1)農林水産業施設被害 9,488 千円	台風第10号は、日本の南海上を北西に進み、次第に進路を北に変え、15日11時過ぎに愛媛県佐田岬半島付近を通過した後、15日15時頃に広島県呉市付近に上陸し、中国地方を縦断後に日本海を北上した。 (日最大1時間降水量) 九頭竜 29.5mm 16日02時48分 (日降水量) 九頭竜 92.0mm 16日 (期間水量(15日～16日)) 九頭竜 138.0mm (日最大風速(15日)) 福井 14.8m/s(南南東)21時33分 敦賀 19.2m/s(南南東)19時07分 (日最大瞬間風速(15日)) 福井 23.9m/s(南東) 19時17分 敦賀 33.5m/s(南南東)19時03分
2019 (令元) 10.12～ 10.13	台風 19号	(1)人的被害 重傷 1人 (2)公共土木施設被害 37千円 (3)その他の公共施設被害 1,099千円 (4)その他被害 25,726千円	台風第19号は、マリアナ諸島を西に進み、一時 大型で猛烈な台風に発達した後、次第に進路を北に変え、日本の南を北上し、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した。その後、関東地方を通過し、13日12時に日本の東で温帯低気圧に変わった。 (日最大1時間降水量) 小浜 13.5mm 12日13時25分 今庄 12.0mm 12日15時03分 (日降水量) 小浜 113.0mm 12日 今庄 100.0mm 12日 (期間水量(12日～13日)) 小浜 127.0mm 今庄 111.0mm (日最大風速(12日)) 福井 12.5m/s(北北西)20時41分 春江 18.7m/s(北) 21時01分 敦賀 20.0m/s(北西) 20時06分 (日最大瞬間風速(12日)) 福井 22.3m/s(北北西)23時48分 春江 27.8m/s(北北西)20時36分 敦賀 29.9m/s(北北西)19時22分
2020 (令2) 6.10～ 6.16	大雨	(1)農林水産業施設被害 5,023千円 (2)公共土木施設被害 115,294千円	梅雨前線が日本付近に停滞した影響により14日を中心に激しい雨が降り大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 39.5mm 14日17時54分 春江 38.0mm 14日18時05分 福井 36.0mm 14日18時17分 敦賀 32.0mm 14日19時37分 小浜 31.5mm 13日07時49分

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
			(日降水量) 春江 125.5mm 14 日 越廼 111.0mm 14 日 三国 108.5mm 14 日 勝山 105.0mm 14 日 福井 103.5mm 14 日
2020 (令2) 6.27～ 6.28	大雨	(1)公共土木施設被害 43,407 千円	梅雨前線の影響により 28 日は非常に激しい雨が降り、大雨となった所があった。 (日最大 1 時間降水量) 越廼 50.0mm 28 日 02 時 13 分 福井 36.5mm 28 日 02 時 40 分 美山 36.0mm 28 日 03 時 23 分 (日降水量) 越廼 97.0mm 28 日 福井 78.5mm 28 日 美山 57.5mm 28 日
2020 (令2) 7.8	大雨	(1)住家被害 床下浸水 3 棟	活発な梅雨前線の影響により大雨となった所があった。 (日最大 1 時間降水量) 九頭竜 29.5mm 8 日 03 時 42 分 敦賀 26.5mm 8 日 05 時 07 分 今庄 19.5mm 8 日 05 時 30 分 (日降水量) 九頭竜 80.0mm 8 日 敦賀 53.0mm 8 日 今庄 53.0mm 8 日
2020 (令2) 7.10～ 7.14	大雨	(1)公共土木施設被害 71,287 千円	梅雨前線が日本付近に停滞した影響により大雨となった所があった。 (日最大 1 時間降水量) 三国 21.5mm 11 日 05 時 16 分 春江 19.5mm 11 日 06 時 39 分 美山 19.0mm 11 日 05 時 47 分 (日降水量) 九頭竜 68.5mm 13 日 勝山 51.0mm 13 日 春江 42.5mm 11 日 今庄 42.5mm 13 日
2020 (令2) 9.4	地震	(1)人的被害 軽傷 13 人	福井県嶺北を震源とする地震 9 月 4 日 09 時 10 分 M5.0 深さ 7km 北緯 36 度 06.9 分

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
			東経 136 度 11.3 分 震度 5 弱 坂井市 震度 4 福井市、あわら市 震度 3 鯖江市、永平寺町、越前町、越前市
2020 (令2) 12.19～ 12.20	大雪	(1)人的被害 軽傷 2 人	12 月 14 日～20 日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、上空には強い寒気が流れ込んだ影響により奥越では大雪となった。 (日降雪量最大値) 大野 24cm 12 月 16 日 九頭竜 40cm 12 月 16 日 (最深積雪) 大野 45cm 12 月 20 日 九頭竜 77cm 12 月 18 日
2020 (令2) 12.31～ 2021 (令3) 1.1	大雪	(1)人的被害 軽傷 1 人	12 月 31 日から 1 月 1 日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、上空には強い寒気が流れ込んだ影響により大雪となった。 (日最大降雪量) 福井 10cm 12 月 31 日 武生 10cm 1 月 1 日 大野 21cm 1 月 1 日 九頭竜 36cm 1 月 1 日 今庄 27cm 12 月 31 日 敦賀 18cm 12 月 31 日 小浜 12cm 12 月 31 日 (最深積雪) 福井 17cm 12 月 31 日 武生 18cm 1 月 1 日 大野 63cm 1 月 1 日 九頭竜 98cm 1 月 1 日 今庄 35cm 1 月 1 日 敦賀 22cm 1 月 1 日 小浜 11cm 12 月 31 日
2021 (令3) 1.2～ 3.7	大雪	(1)人的被害 死者 8 人 重傷 17 人 軽傷 77 人 (2)住家被害 全壊 2 棟 半壊 1 棟 一部破損 192 棟 床上浸水 2 棟 床下浸水 14 棟 (3)非住家被害 その他 12 棟 (4)その他 道路 2 箇所 (5)その他 河川 1 箇所 (6)公共土木施設被害	1 月 8 日から 1 月 9 日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、嶺北を中心に大雪となった。 (日最大降雪量) 福井 54cm 1 月 9 日 武生 32cm 1 月 8 日 大野 63cm 1 月 8 日 九頭竜 52cm 2 月 17 日 今庄 39cm 1 月 10 日 敦賀 23cm 2 月 18 日 小浜 4cm 1 月 29 日、2 月 9 日 (最深積雪) 福井 107cm 1 月 9 日

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
		589,051 千円 (7)災害対策本部設置市町 福井市、大野市、勝山市、 坂井市、永平寺町	武生 64cm 1月10日 大野 166cm 1月11日 九頭竜 187cm 1月10日 今庄 91cm 1月10日 敦賀 26cm 2月18日 小浜 4cm 1月2日、1月30日 2月9日
2021 (令3) 7.6～ 7.7	大雨	(1)その他 河川 1箇所 (2)公共土木施設被害 10,640 千円	活発な梅雨前線の影響により大雨となった 所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 36.0mm 7日05時52分 九頭竜 27.5mm 7日06時19分 大野 22.0mm 7日06時24分 (日降水量) 越廼 72.5mm 7日 九頭竜 56.0mm 7日 美山 45.5mm 7日 大飯 45.5mm 7日
2021 (令3) 7.15	大雨	(1)その他 河川 1箇所 (2)公共土木施設被害 20,643 千円	上空に流れ込んだ寒気の影響により、大気 が不安定となった。 (日最大1時間降水量) 武生 18.0mm 15日16時11分 美浜 9.0mm 15日19時27分 大飯 6.5mm 15日15時14分 (日降水量) 武生 18.0mm 15日 美浜 9.0mm 15日 大飯 9.0mm 15日
2021 (令3) 7.29	大雨	(1)人的被害 軽傷 1人 (2)住家被害 半壊 1棟 床上浸水 16棟 床下浸水 47棟 (3)非住家被害 その他 1棟 (4)その他 田 流失・埋没 480ha 田 冠水 47ha (5)その他 学校 2箇所 (6)その他 道路 71箇所 (7)その他 河川 41箇所 (8)その他 砂防 25箇所 (9)その他 水道 170戸 (10)農林水産業施設被害 94,219 千円 (11)公共土木施設被害 1,055,177 千円 (12)その他被害 4,362 千円	29日は、台風第8号から変わった日本海の 低気圧に向かって、暖かく湿った空気が流入 し、また、東日本上空約6000メートルの氷点 下6度以下の寒気が北陸地方に流れ込んだ。 このため、大気の状態が非常に不安定となり、 福井県では嶺北を中心に大雨となった。 (日最大1時間降水量) 福井 44.0mm 29日06時17分 越廼 34.0mm 29日08時12分 美山 25.5mm 29日01時51分 (日降水量) 福井 107.0mm 29日 越廼 91.5mm 29日 春江 60.0mm 29日

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2021 (令3) 8. 9	台風 9号	(1) 人的被害 軽傷 1 人	台風第9号は、8日午後8時過ぎに鹿児島県枕崎市付近に上陸し、9日5時過ぎに広島県呉市付近に再上陸した後、9日9時に中国地方で温帯低気圧に変わった。 (日最大1時間降水量) 美山 18.0mm 9日21時04分 小浜 15.5mm 9日5時18分 (日降水量) 武生 54.0mm 9日 美山 46.5mm 9日 (日最大風速(9日)) 三国 16.3m/s(南) 15時11分 福井 14.8m/s(南南西) 18時20分 春江 14.4m/s(南) 17時20分 (日最大瞬間風速(9日)) 三国 30.2m/s(南) 18時16分 福井 27.2m/s(南南西) 17時44分 春江 23.7m/s(南南西) 18時23分 越廼 23.7m/s(南) 17時39分
2021 (令3) 8. 14	大雨	(1) その他 道路 1箇所 (2) その他 河川 5箇所 (3) その他 砂防 4箇所 (4) 公共土木施設被害 145,906千円	本州付近に停滞した活発な前線の影響により、大雨となった。 (日最大1時間降水量) 福井 31.0mm 14日06時47分 武生 28.0mm 14日06時53分 大飯 23.5mm 14日06時48分 (日降水量) 大飯 93.0mm 14日 武生 91.5mm 14日 小浜 86.5mm 14日
2021 (令3) 12. 18～ 12. 28	大雪	(1) 人的被害 重傷 1人 軽傷 7人	上空に強い寒気が流れ込み、26日から27日にかけて断続的に雪が降った。 (日最大降雪量) 福井 14cm 12月25日 武生 19cm 12月26日、12月27日 大野 28cm 12月19日 九頭竜 36cm 12月27日 今庄 28cm 12月18日 敦賀 16cm 12月27日 小浜 34cm 12月26日 (最深積雪) 福井 33cm 12月27日 武生 35cm 12月27日 大野 46cm 12月28日 九頭竜 57cm 12月27日、12月28日 今庄 41cm 12月27日 敦賀 26cm 12月27日 小浜 47cm 12月27日
2022 (令和4) 1. 20	大雪	(1) 人的被害 軽傷 1 人	日本付近は、冬型の気圧配置となっている。 北陸地方の上空約5500メートルに、氷点下36度以下の強い寒気が流れ込んだ影響で大気の状態が非常に不安定となり嶺北の山地を中心に

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
			に大雪となった。 (日降雪量最大値(20日)) 九頭竜 43cm 大野 43cm 今庄 30cm 武生 22cm 福井 14cm 敦賀 4cm 小浜 3cm (最深積雪最大値(20日)) 九頭竜 151cm 大野 99cm 今庄 72cm 武生 30cm 福井 28cm 小浜 5cm 敦賀 4cm
2022 (令和4) 2.16～ 2.17	大雪	(1) 人的被害 重傷 2人 軽傷 1人 (2) 公共土木施設被害 19,795千円	日本海の低気圧や寒気の影響で日本海側を中心に大雪となった。 (日降雪量最大値) 福井 18cm 2月16日 武生 17cm 2月16日 大野 56cm 2月16日 九頭竜 49cm 2月16日 今庄 19cm 2月17日 小浜 8cm 2月17日 敦賀 15cm 2月17日 (最深積雪最大値) 福井 25cm 2月17日 武生 24cm 2月17日 大野 124cm 2月17日 九頭竜 198cm 2月17日 今庄 80cm 2月17日 小浜 8cm 2月17日 敦賀 15cm 2月17日
2022 (令和4) 3.26	暴風	(1) 人的被害 重傷 1人 (2) 住家被害 半壊 1棟 一部破損 2棟	日本海の低気圧が発達したため、日本海側を中心に広範囲で南よりの暴風となった。 (日最大風速) 敦賀 18.2m/s(南南東)14時35分 三国 17.5m/s(南南東)15時40分 (日最大瞬間風速) 美浜 29.8m/s(東南東)14時16分 敦賀 29.7m/s(南東)14時21分
2022 (令和4) 7.3	大雨	(1) 公共土木施設被害 24,305千円	気圧の谷と湿った空気の影響で、大気の状態が不安定となった。 <日最大1時間降水量> 福井 70.0mm 3日 19時36分 勝山 40.5mm 3日 20時29分 美山 35.0mm 3日 19時41分 大野 33.5mm 3日 20時17分 <日降水量> 福井 102.5mm 勝山 63.0mm 大野 53.0mm

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
			武生 49.0mm
2022 (令和4) 8.4～ 8.5	大雨 【福井 県災害 対策本 部設置】	(1)住家被害 全壊 8棟 半壊 70棟 一部破損 1棟 床上浸水 85棟 床下浸水 184棟 (2)非住家被害 その他 14棟 (3)農林水産業施設被害 305,000千円 (4)公共土木施設被害 6,148,801千円 (5)その他被害 2,000千円 (6)災害対策本部設置市町村 敦賀市、勝山市、大野市、鯖江市、 越前市、南越前町、越前町	8月4日から5日は、日本海から北陸地方を 通って日本の東にのびる前線がゆっくり南下 した。日本の南に中心を持つ高気圧の縁をま わる暖かく湿った空気が前線に向かって流れ 込んだ影響や、上空の寒気の影響で大気の状態 が不安定となった。4日昼前には奥越で猛烈 な雨が降り、激しい雨が同じ場所で降り続い たことから「線状降水帯」が発生した。5日明 け方から朝にかけて嶺北南部や嶺南東部に 次々と発達した積乱雲が流れ込み、断続的に 猛烈な雨が降り記録的な大雨を観測した。 <日最大1時間降水量> 今庄 74.0mm 5日 09時13分 美浜 66.0mm 5日 06時58分 九頭竜 65.5mm 4日 07時31分 勝山 56.0mm 4日 09時27分 大野 56.0mm 4日 09時17分 <期間降水量(3日～5日)> 今庄 426.0mm 武生 233.5mm 大野 219.5mm 九頭竜 206.5mm 福井 189.0mm 美山 186.0mm 勝山 182.0mm
2022 (令和4) 12.23～ 12.24	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	12月23日から24日にかけて、上空の強い 寒気が南下し冬型の気圧配置が強まった。 JPCZ が嶺北を南下したため、23日夜から24 日明け方にかけて、断続的に活動が活発な雪 雲が流れ込み、奥越を中心に大雪を観測した。 (日降雪量最大値) 福井 14cm 12月23日 武生 11cm 12月23日 大野 28cm 12月23日 九頭竜 29cm 12月24日 今庄 11cm 12月24日 敦賀 2cm 12月24日 (最深積雪最大値) 福井 20cm 12月24日 武生 9cm 12月24日 大野 64cm 12月24日 九頭竜 87cm 12月24日 今庄 33cm 12月24日 敦賀 2cm 12月24日

第2章 令和4年の天候概況

1 天候の特徴

◇ 年（1月～12月）の概況

1月は低気圧や冬型の気圧配置の影響で、曇りや雪または雨の日が多く、中旬は強い寒気が流れ込んだ影響で、大雪となった所もあった。また、冬型の気圧配置が緩み晴れた日も時折あった。2月は冬型の気圧配置が強まり上中旬は強い寒気の影響で、山地や嶺南を中心に大雪となった。今冬は断続的な冬型の気圧配置となったため気温は低く、降水量・降雪量が多いか平年並だった。たびたび強い寒気が流れ込んだ影響で大雪となった所もあった。

3月～4月は、寒気の影響を受けにくかったことや、移動性の高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、天気は数日の周期で変わった。5月は高気圧に覆われ晴れた日が多くなり、気温の変動が大きくなった。気温は高くなり、降水量は少なくなった。

6月下旬～7月上旬は、太平洋高気圧や上層の高気圧の影響で晴れた日が多く記録的な高温となった。梅雨入りは6月6日ごろで梅雨明けは特定できなかった。8月は低気圧や前線の影響で記録的な大雨や多雨となった。気温はかなり高くなり、日照は平年並となった。

9月～11月は、暖かい空気に覆われやすく、低気圧や前線及び寒気の影響を受けにくい時期があったため、日照時間はかなり多く、気温はかなり高くなった。降水量は、少ないかかなり少なくなった。

12月は、冬型の気圧配置や低気圧の影響で雨や曇りの日が多く、下旬に強い寒気が流れ込んだ影響で、大雪となった所もあった。

年平均気温の平年差は福井で+0.6℃で平年より高く、敦賀で+0.6℃で平年より高くなった。

年降水量の平年比は福井では107%で平年並み、敦賀では94%で平年並みとなった。

年日照時間の平年比は福井では110%で平年よりかなり多く、敦賀では107%で平年より多くなった。

官署	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 (℃)	平年差 (℃)	階級区分	本年 (mm)	平年比 (%)	階級区分	本年 (h)	平年比 (%)	階級区分
福井	15.4	0.6	高い	2467.0	107	平年並	1826.4	110	かなり 多い
敦賀	16.2	0.6	高い	2066.5	94	平年並	1702.9	107	多い

※平年差（比）は、平年値（1991年～2020年の30年平均値）から求めている。

◇ 台 風

台風の間発生数は平年並みの25個(平年値25.1個)となり、日本への接近数は11個(平年値11.7個)、上陸数は3個(平年値3.0個)。北陸地方への接近数は3個(平年値2.8個)となった。

【台風発生数・上陸数】

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値
発生				2		2	2	5	7	5	1	1	25	25.1
上陸 (注1)							1	1	1				3	3.0
北陸地方に 接近した台風								1	2				3	2.8

(注1) 「上陸」は台風が中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を指す。

※台風が中心が新潟県、富山県、石川県、福井県のいずれかの気象官署等から300km以内に入った場合を「北陸地方に接近した台風」としている。

※接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

2 月別気象概況

◇ 2022年(令和4年)月別気象概況

1 月

冬型の気圧配置や低気圧の影響で曇りや雪の日が多く、中旬は強い寒気の影響により大雪となった所もあった。また、冬型の気圧配置が緩み、晴れた日もあった。

平均気温は、美浜で平年並、大野、勝山で平年よりかなり低く、その他の地点では平年より低くなった。

降水量は、武生、今庄、敦賀で平年並、春江、越廼、九頭竜、小浜、大飯で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、三国、福井で平年よりかなり多く、越廼、今庄、敦賀で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

2 月

高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪または雨や曇りの日が多くなり、上中旬には強い寒気の影響で山地や嶺南を中心に大雪となった日があった。

平均気温は、三国で平年並、小浜で平年よりかなり低く、その他の地点では平年より低くなった。

降水量は、春江で平年よりかなり少なく、三国、越廼で平年より少なく、武生、九頭竜、大飯で平年並、今庄、敦賀で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、大野で平年よりかなり少なく、勝山、今庄で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

3 月

高気圧と低気圧が交互に通過して、天気は周期的に変わった。26日は発達した低気圧の影響で大荒れの天気となった。

平均気温は、三国で平年よりかなり高く、勝山、大野、今庄で平年並、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、春江で平年よりかなり少なく、九頭竜で平年並、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、大野で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

4月

天気は数日の周期的で変わったが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。また、暖かい空気の影響を受け、気温は高くなった。

平均気温は、敦賀、大野で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、三国、越廼、大飯で平年並、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、全ての地点で平年より多くなった。

5月

この期間、天気は数日の周期で変わったが、高気圧に覆われて、晴れた日が多くなった。なお、気温の変動が大きくなった。

平均気温は、三国で平年より高く、その他の地点では平年並となった。

降水量は、福井、敦賀で平年並となり、大野、大飯で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、小浜で平年並となり、その他の地点では平年より多くなった。

6月

梅雨前線の影響を受けにくく、晴れた日が多くなった。なお、上旬は上空に冷たい空気が流れ込み、気温は平年を下回ったが、その後は太平洋高気圧が強まり、暖かい空気が流れ込みやすくなったため、月平均気温は記録的な高温となった。

平均気温は、全ての地点で平年よりかなり高くなった。

降水量は、勝山、大野、九頭竜、美浜、大飯で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、小浜で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

7月

月のはじめと終わりは高気圧に覆われ晴れた日があったが、期間の中頃は暖かく湿った空気や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなった。なお、3日と9日は大気の状態が非常に不安定となり、嶺北では局地的に猛烈な雨を観測した。

平均気温は、越廼で平年並、三国、美浜で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、福井で平年より多く、越廼、武生で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、小浜で平年より少なく、勝山で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

8月

前線や湿った空気の影響により、多くの地点で月降水量がかなり多く、月間日照時間が少なくなったが、特に、4日から5日にかけては嶺北で線状降水帯が発生するなど記録的な大雨となった所があった。また、中旬以降も前線や湿った空気の影響で曇りや大雨となった日があった。

平均気温は、三国、美浜、小浜で平年より高く、その他の地点では平年並となった。

降水量は、大飯で平年並となり、春江、越廼、小浜で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

日照時間は、全ての地点で平年より少なくなった。

9月

期間のはじめは前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなったが、その後は、高気圧に覆われ晴れて、暖かい空気が流れ込み気温も平年より高い日が多くなった。なお、この期間、台風第11号と台風第14号の影響で大雨や大荒れとなった日があった。

平均気温は、越廼で平年並、今庄で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、武生、敦賀、美浜で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、三国、福井、越廼、敦賀で平年並、その他の地点では平年より少なくなった。

10月

期間の前半は前線や低気圧の影響により、曇りや雨の日が多くなった。その後は、高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。また、寒気の影響を受けたため、平均気温は平年を下回る日が多くなった。

平均気温は、三国、福井で平年並、その他の地点では平年より低くなった。

降水量は、三国で平年より多く、福井、越廼、美山、大飯で平年並、大野、九頭竜で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、三国で平年並、その他の地点では平年より多くなった。

11月

天気は数日の周期で変化しましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多く降水量はかなり少なくなり、日照時間は各地でかなり多くなった。また、寒気の影響が弱く、南から暖かい空気が流れ込んだ影響で、月の平均気温は、多くの地点で平年よりかなり高くなった。

平均気温は、春江、越廼、小浜で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなった。

降水量は、春江、勝山、九頭竜、武生、越廼で平年より少なく、その他の地点では平年よりかなり少なくなった。

日照時間は、全ての地点でかなり多くなった。

12月

冬型の気圧配置や低気圧等の影響により、上旬は雨や曇りの日が多くなった。また、その後は、強い寒気の南下で気温が低くなり、雪やみぞれの日が多くなった。なお、期間の後半は嶺北を中心に積雪となった。

平均気温は、三国、美浜で平年並、その他の地点では平年より低くなった。

降水量は、美浜で平年より少なく、小浜、大飯で平年よりかなり少なく、越廼、敦賀で平年並、美山、大野、今庄で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、小浜で平年より多く、美浜で平年並、敦賀、福井、三国で平年より少なく、その他の地点では平年よりかなり少なくなった。

第3章 防災訓練の実施状況

I 総合防災訓練

令和4年度福井県総合防災訓練を次のとおり実施した。

1 目的

災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう、訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を行い、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図ることを目的に実施した。

2 日時、場所

令和4年10月8日（土）8時00分～12時00分

- 主訓練会場 九頭竜川河川敷（勝山市）
- サテライト会場 勝山市総合体育館 ジオアリーナ（勝山市）

3 主催

福井県、勝山市

4 想定

勝山市で土砂災害警戒情報の発表後、福井県嶺北（内陸）に震度6弱の地震が発生

5 参加機関 100機関（約1150人）

（1）国の行政機関

東京管区气象台福井地方气象台、総務省北陸総合通信局、近畿地方整備局福井河川国道事務所、海上保安庁

（2）自衛隊

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第372施設中隊

（3）警察関係

福井県警察本部、勝山警察署

（4）消防関係

福井県消防長会、福井市消防局、嶺北消防組合消防本部、永平寺町消防本部、大野市消

防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、敦賀・美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、(公財)福井県消防協会、勝山地区自衛消防隊、勝山市防火管理研究協議会、勝山市危険物安全協会、勝山市消防団

(5) 医療関係

(一社)福井県医師会、(社)勝山市医師会、(公社)福井県看護協会、日本赤十字社福井県支部、福井県赤十字血液センター、福井県立病院、福井県済生会病院、福井大学医学部付属病院、勝山総合病院、公立丹南病院、市立敦賀病院、杉田玄白記念公立小浜病院、福井県歯科医師会

(6) 交通運輸関係

中日本高速道路(株)金沢支社、赤帽福井県軽自動車運送協同組合

(7) ライフライン関係

北陸電力(株)福井支店、北陸電力送配電(株)福井支社、(一財)北陸電気保安協会福井支店、(一社)福井県LPガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(一社)日本コミュニティーガス協会近畿支部福井県防災会、福井県管工業協同組合、勝山市管工業協同組合

(8) 各種団体

日産プリンス福井販売(株)、福井日産自動車(株)、福井三菱自動車販売(株)、(株)福井銀行、西日本電信電話(株)、KDDI(株)、ソフトバンク(株)、(株)NTTドコモ北陸支社、(公社)福井県ビルメンテナンス協会、福井県民生活協同組合、福井大学医学部、福井工業大学笠井研究室、セイノーホールディングス(株)、モンベル、

(9) 地元地区関係

勝山市

6 主な訓練項目

(1) 実働機関による実践的な訓練

- ・ヘリ、ドローンによる被害状況確認
- ・土砂災害救出救助
- ・林野火災消火訓練

(2) 避難所運営訓練

- ・LINE等のSNSを活用した避難所受付
- ・要支援者、外国人避難者対応訓練
- ・DWA Tと勝山市による避難所生活支援訓練

(3) 住民避難訓練・支援訓練

- ・勝山市民 約250名が住民避難訓練に参加
- ・避難者によるパーティション等の設置
- ・福祉避難所への移動

(4) ライフライン復旧訓練

- ・停電時の電力復旧対応
- ・地震による断水の復旧対応
- ・LPガス漏洩応急処置

＜訓練項目図＞

令和4年度福井県総合防災訓練 スケジュール

	7:30	8:00	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30
対象者	7:30 比島水位観測点(丸瀬電気)において地震注意水位(警戒レベル3)超過、高潮警等避難発令【昭和町】 7:45 藤山市に土砂災害警戒区域発生 7:50 避難指示発令【昭和町】 8:00 福井県北地方を震源とする震度6弱の地震発生、被害が拡大							
経緯	9:00~9:20 複数ドローンによる被害状況確認および映像伝達訓練(海保、県警) 9:25~9:45 ヘリによる被害状況確認および情報伝達訓練(空自) 9:50~10:10 水難救助訓練(海保、消防) 10:30~10:45 ドクターヘリ搬送訓練(福井県、消防、消防団) 9:00~9:10 エフ・エフ・パルク等にも被害状況確認および映像伝達訓練(陸自) 9:10~9:30 自主防災組織等による救助訓練(消防団、藤山地区自衛消防隊等) 9:30~9:50 倒壊建物消火訓練(消防、消防団、藤山地区自衛消防隊等) 9:50~10:10 道路啓蒙訓練(県警、市、消防) 10:15~11:10 土砂埋没建物等救助訓練(陸自、県警、消防、消防団) 10:20~11:20 水防訓練(福井河川国道事務所、県、市、消防団、消防団協力事務所) 10:30~11:20 災害廃棄物処理訓練(県、市、県産業資源循環協会) 11:00~11:15 夜間物資搬送訓練(オフロードバイク)(設置) 10:30~11:20 クイックレスポンス部隊(市、LPガス協会、北陸電力、藤山市管工事業協同組合)							
備考	11:30~12:00							
主催者(藤山市委員会)	8:40~8:55 集結訓練(消防) 9:00~9:10 架橋訓練(陸自) 9:00~11:20 現地合同調整所設置・運営訓練(自衛隊、海保、県警、消防等) 非常通信訓練(県、北陸地方非常通信協議会) 通信手段確保訓練(北陸総合通信局、県、市) 各種体験・展示(各美術館等) 10:30~11:20 クイックレスポンス部隊(市、LPガス協会、北陸電力、藤山市管工事業協同組合)							
ボランティア活動(ボランティア)	7:00~9:30 避難所開設・運営訓練(市、住民) 7:30~9:30 住民避難訓練、避難誘導訓練 避難所運営訓練(県警、市、住民) 9:00~11:30 避難所運営訓練(市、NTTドコモ) 停電時電源応急対応訓練(福井二重自動車、福祉産業自動車、日産プリンス福井) 9:00~11:20 DWATと藤山市による避難所生活支援訓練(県、市、住民) 9:45~10:15 救護物資搬送訓練(軽自動車) (大野市、多摩川外乗組自転車連盟、河合会) 10:00~11:30 現地災害ボランティアセンター設置運営訓練(県災害ボランティアセンター連絡会等) 9:00~9:30 外国人避難者対応訓練(南砺市交際委員会、市) 9:00~11:30 非常食・防災グッズの展示(各機関) 災害対応設備の展示(各機関)							
関係・連携・その他	7:00~8:30 交通対策訓練(県警) 8:00~9:00 災害対策本部・設置運営訓練(県) 8:00~9:00 災害対策本部・設置運営訓練(市) 9:00~9:20 災害対策本部会議訓練(市) 9:30~11:00 安否不明者確認訓練(市) 8:40~9:30 石油燃料供給訓練(石油業協同組合、県警) 9:00~10:40 隣接地区待機要請および教習班派遣訓練(福井県医師会)							

令和4年度 福井県原子力総合防災訓練 実施結果 (美浜地域における国主催原子力防災訓練)

1 目 的

福井県地域防災計画（原子力災害対策編）および美浜地域の緊急時対応に基づき、国、関係県、関係市町、防災関係機関および地域住民が一体となった原子力総合防災訓練を実施し、国、地方公共団体、原子力事業者、関係機関における初動対応の確立、防災体制の確認、住民避難体制や緊急時医療措置等の災害対策の習熟、原子力災害対策に係る要員の技能の習熟および原子力防災に関する住民理解の促進を図ることを目的とする。

2 実施時期

令和4年11月4日（金）～6日（日）

3 対象発電所 関西電力株式会社 美浜発電所

4 場所

美浜町、敦賀市、若狭町、小浜市、南越前町、越前市、越前町等の訓練実施市町

5 訓練参加数

（機 関）

約150機関 約3,100人

（住 民）

避難訓練参加住民 約 647人

屋内退避参加住民 約4,700人

6 主な参加・協力機関（順不同）

（指定行政機関等）

内閣官房、内閣府、国家公安委員会、警察庁、消費者庁、総務省、消防庁、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、資源エネルギー庁、国土交通省、気象庁、海上保安庁、環境省、原子力規制委員会、防衛省

（指定地方行政機関等）

中部管区警察局、近畿地方整備局、中部運輸局、東京管区气象台、福井地方气象台、彦根地方气象台、第八管区海上保安本部（敦賀海上保安部、小浜海上保安署）、陸上自衛隊中部方面隊、陸上自衛隊第3師団、陸上自衛隊第10師団、航空総隊、航空支援集団、航空自衛隊第12高射隊、海上自衛隊舞鶴地方隊、自衛隊福井地方協力本部、美浜原子力規制事務所 等

(地方公共団体等)

福井県、石川県、兵庫県、滋賀県、岐阜県、奈良県、関西広域連合、美浜町、敦賀市、若狭町、小浜市、南越前町、越前市、越前町、おおい町、坂井市、永平寺町、小松市、姫路市、三木市、天理市、長浜市、高島市、大津市、揖斐川町、警視庁、埼玉県警察、福井県警察、石川県警察、滋賀県警察、岐阜県警察、福井県教育委員会、滋賀県教育委員会、福井市消防局、敦賀美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、湖北地域消防本部、高島市消防本部、揖斐郡消防組合消防本部等

(指定公共機関等)

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、日本原子力発電株式会社、西日本電信電話株式会社福井支店、KDDI株式会社、株式会社NTTドコモ、ソフトバンク株式会社、日本赤十字社福井県支部、中日本高速道路株式会社金沢支社 等

(指定地方公共機関等)

一般社団法人福井県トラック協会、一般社団法人兵庫県トラック協会、公益社団法人福井県バス協会、一般社団法人滋賀県バス協会、公益社団法人岐阜県バス協会等

(原子力事業者)

関西電力株式会社、日本原子力発電株式会社(美浜原子力緊急事態支援センター)等

(その他)

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、一般社団法人福井県医師会、社団法人揖斐郡医師会、一般社団法人福井県薬剤師会、一般社団法人湖北薬剤師会、高島市薬剤師会、一般社団法人揖斐郡薬剤師会、福井県漁業協同組合、公益社団法人福井県診療放射線技師会、公益社団法人滋賀県診療放射線技師会、公益社団法人京都府放射線技師会、公益社団法人大阪府診療放射線技師会、公益社団法人兵庫県放射線技師会、公益社団法人奈良県診療放射線技師会、一般社団法人和歌山県放射線技師会、福井県立病院、福井大学医学部附属病院、長浜赤十字病院、大津赤十字病院、滋賀医科大学医学部附属病院、近江八幡市立総合医療センター、市立長浜病院、長浜市立湖北病院、高島市民病院、岐阜大学医学部附属病院、一般社団法人岐阜県診療放射線技師会、社会福祉法人高島市社会福祉協議会 等

7 訓練想定

美浜発電所3号機において、若狭湾を震源とした地震による外部電源喪失後、原子炉冷却材の漏えいが発生。さらに設備故障等により非常用炉心冷却装置による原子炉への全ての注水が不能となり、全面緊急事態となる。

8 住民参加

令和4年度福井県原子力総合防災訓練 広域避難訓練 参加者実績

【PAZ】 58人

区分	避難元市町		避難先（移動先）		人数
要配慮者	美浜町	在宅	おおい町	いきいき長寿村	2
一般住民	美浜町		おおい町	大飯中学校	51
	敦賀市		（孤立搬送）	白木漁港（ヘリ）→鞠山南ヘリポート 白木会館（高機動車）→敦賀港金ヶ崎岸壁	5
合計					58

【UPZ】 589人

区分	避難元市町・施設名		避難先（移動先）		人数
一般住民	美浜町		おおい町	総合運動公園体育館	125
			おおい町	ホテルうみんびあ	17
			（孤立搬送）	新庄HP（ヘリ）→美浜町総合運動公園	3
	敦賀市		奈良県天理市	二階堂小学校	44
			（孤立搬送）	日本原電原子力館・西浦小中学校（ヘリ）→バス →敦賀港金ヶ崎岸壁	6
			賤ヶ岳SA		15
	若狭町		兵庫県三木市	三木総合防災公園	90
			（孤立搬送）	旧岬小学校（ヘリ）→おおい町総合運動公園	19
	小浜市		兵庫県姫路市	姫路みなとドーム	55
			兵庫県姫路市	姫路城下町ホテルクレール日笠	3
			（孤立搬送）	泊漁港（船舶）→小浜漁港	10
	南越前町		永平寺町	上志比小学校	50
	越前市		坂井市	春江B&G海洋センター	37
			石川県小松市	小松市民センター	55
	越前町		坂井市	加戸小学校	48
社会福祉施設等	美浜町	湖岳の郷	高浜町	高浜けいあいの里	4
	越前町	ライトハウスセンター	大野市	希望園	8
合計					589

PAZ・UPZ総計					647
-----------	--	--	--	--	-----

9 訓練項目

(1) 住民避難訓練

- ア 避難先施設への避難
- イ 自衛隊車両、民間バス、自家用車による住民等の陸路からの避難
- ウ 自衛隊、海上保安庁等のヘリコプターおよび船舶による住民等の空路、海路からの避難
- エ 避難車両中継所における自衛隊車両等から民間バスへの乗継
- オ 消防団等による自家用車避難済み住民等の確認
- カ 新型コロナウイルス感染症対策の防護措置の確認

(2) 避難所開設運営訓練

- ア 避難所の設置運営
- イ 避難者受入マニュアルに基づく受入訓練の実施
- ウ 避難元、避難先自治体における情報伝達の確認
- エ 避難者の受付（避難退域時検査受検の有無の確認も含む）
- オ 避難先施設における避難者への健康状態の確認
- カ 災害時応援協定に基づく物資の調達、搬送
- キ 飲料水・飲食物の供給
- ク 避難住民への事故状況等説明の実施
- ケ 新型コロナウイルス感染症対策の防護措置の確認

(3) 避難行動要支援者避難訓練

- ア 児童園児の保護者への引渡し
- イ 引渡しできなかった児童園児は、職員と共に避難先施設等まで避難
- ウ 福祉施設入所者の避難先施設への搬送等
- エ 在宅避難行動要支援者の避難先施設（福祉避難所等）への搬送
- オ 福祉施設、原子力事業者が保有する福祉車両による搬送
- カ 放射線防護のための換気設備を使用した屋内退避
- キ 避難先施設における避難者への健康状態の確認
- ク 警察による避難車両のパトカー先導

(4) 原子力災害医療措置訓練

- ア 福井県緊急時医療本部等の設置・運営
- イ 避難経路上における安定ヨウ素剤の配布
- ウ 避難退域時検査および簡易除染の実施
- エ 原子力事業者、原子力災害医療協力機関の参画
- オ 自衛隊による避難退域時検査、車両除染の実施

(5) 屋内退避訓練

- ア U P Z住民による自宅等での屋内退避行動（戸締、情報収集等）の実施
- イ 避難に備え、非常用持出品（保険証、常備薬等）の準備

- ウ 家屋倒壊により屋内退避できない住民による近隣の指定避難所への退避
- エ 屋内退避の意義等の理解促進活動の実施

(6) 複合災害対応訓練

- ア 複合災害時における防災関係機関間の情報伝達、対応要請の確認
- イ 自衛隊、海上保安庁による住民避難の支援
- ウ 通行不能道路における道路啓開（障害物排除）の実施
- エ 家屋倒壊により屋内退避できない住民による近隣の指定避難所への退避【再掲】

(7) 緊急時通信連絡訓練

- ア 発電所から事故状況の通報連絡
- イ 国から県および関西広域連合、関係市町への通報連絡、避難指示等の伝達
- ウ 県、関係市町から自衛隊、海上保安庁、警察、消防、その他関係機関への通報連絡
- エ 事故発生から応急処理、復旧までの通信伝達、収受等
- オ 携帯型映像伝送装置等を利用した画像伝送
- カ 北陸地方非常通信協議会等による情報伝達

(8) 災害対策本部等運営訓練

- ア 福井県庁、各市町庁舎、福井県美浜原子力防災センターに災害対策本部等の設置・運営、情報収集・連絡体制を構築
- イ 災害対策本部等による住民に対する情報提供の実施
(ケーブルテレビ、防災行政無線屋外拡声器、個別受信機、緊急情報メール、広報車、船舶等による地域住民・立入者等への広報)
- ウ テレビ会議システム等を活用し災害対策本部と現地災害対策本部との対策会議等の実施

(9) 原子力防災センター運営訓練

- ア 福井県美浜原子力防災センターへの要員派遣
- イ 現地事故対策連絡会議、原子力災害合同対策協議会の開催（防護措置方針の決定等）
- ウ 各機能班の活動
- エ 県および市町現地災害対策本部等と各機能班との連携
- オ 住民等の避難状況の確認
- カ 防護措置方針に基づいた応急対策（避難先等の決定、避難手段の確保など）

(10) 緊急時モニタリング訓練

- ア 緊急時モニタリングセンター等の設置・運営
- イ 緊急時モニタリング実施計画、緊急時モニタリング指示書の作成
- ウ 固定観測局および電子線量計観測局を活用したUPZ圏内の線量率の測定
- エ モニタリングカー、サーベイメータを活用した避難範囲の特定のための線量率の測定
- オ 放射線モニタリング情報共有・公表システム（ラミス）を用いた関係機関との情報共有

- カ 固定観測局等のバックアップとしての可搬型モニタリングポストの設置および測定
- キ 環境試料の採取、受入
- ク 福井県モニタリング本部（美浜原子力防災センター）の設置・運営および後方支援
- ケ 原子力事業者間の相互応援による職員派遣および資機材の提供
- コ モニタリング要員被ばく管理および資機材等の汚染管理

(11) 自衛隊災害派遣運用訓練

- ア 福井県美浜原子力防災センターへの連絡要員の派遣
- イ 住民の避難支援
- ウ 避難退域時検査、車両除染の支援

(12) 交通対策等措置訓練

- ア 主要交差点等における渋滞抑制対策の実施
- イ 道路管理者による道路点検の実施
- ウ 福井県警察本部のオフロードバイクによる避難地域の情報収集活動
- エ 福井県警察警備艇わかさによる美浜発電所周辺の海上警備
- オ 立入制限措置
- カ 警察による避難退域時検査場所周辺道路における交通誘導

(13) 発電所事故制圧訓練

- ア 緊急時活動レベル（EAL）による通報連絡訓練
- イ 本店および発電所における緊急時対策本部設置・運営
- ウ 規制庁ERCとの連携
- エ 発電所における重大事故等発生時の対応
- オ 原子力緊急事態支援組織の参画
- カ 現地支援拠点等の支援体制の確立

Ⅲ 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

種別	年度	29	30	令和元	2	3	4
総合防災訓練	日時	平成29年8月27日(日)	平成30年11月9日(金)	令和元年11月1日(金)、2日(土)	令和2年11月14日(土)	令和3年11月13日(土)	令和4年10月8日(土)
	場所	南越前町日野川河川敷	テクノポート福井、永平寺河川公園	中部縦貫道、真名川憩いの島	栗野スポーツセンター	鯖江市日野川河川敷	九頭竜川河川敷、勝山市体育館
	主催	福井県、南越前町、越前市	福井県、福井市、あわら市、坂井市、永平寺町	消防庁 福井県 福井県消防長会 緊急消防援助隊中部ブロック訓練実行委員会	福井県、敦賀市	福井県、鯖江市	福井県、勝山市
	参加機関	107	210	170	90	100	100
	訓練種目	41	92	75	45	50	43
	想定	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害	奥越地域における大雨および地震による複合災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害
	参加人員	3,000	6,000	2,000	700	1,050	1,150
石油コンビナート等	日時		平成30年11月10日(土)				令和4年10月23日(日)
	場所		福井臨海地区石油コンビナート等特別防災区域およびその周辺海域				福井臨海地区石油コンビナート等特別防災区域およびその周辺海域
	主催		福井県石油コンビナート等防災本部				福井県石油コンビナート等防災本部
	参加機関	未開催	30	未開催	未開催	未開催	18
	訓練種目		9				28
	想定		地震による原油漏えい、防油堤一部破損および余震によるタンク火災				地震と津波によるコンビナート災害
	参加人員		100				約300
原子力防災訓練	日時		平成30年8月25日(土)、26日(日)	令和元年8月30日(金)、31日(土)	令和2年8月27日(木)	令和3年10月29日(金)、30日(土)	令和4年11月4日(金)～6日(日)
	訓練対象施設		関西電力(株)大飯発電所、高浜発電所	関西電力(株)美浜発電所	関西電力(株)大飯発電所、高浜発電所	関西電力(株)美浜発電所	関西電力(株)美浜発電所
	主催		国	福井県	福井県	福井県	福井県
	参加機関	未開催	191	100	40	100	150
	訓練種目		13	13	10	13	
	想定		全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出
	参加人員		7,457	8,988	約50	約320	約650

Ⅳ 市町別自主防災組織の結成状況

令和5年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (カバー率) (B/A)
福 井 市	106,722	1,143	74,661	102,325	95.9%
敦 賀 市	29,019	89	2,225	26,232	90.4%
小 浜 市	12,192	112	1,324	8,934	73.3%
大 野 市	11,578	181	6,025	11,091	95.8%
勝 山 市	7,072	117	1,189	6,988	98.8%
鯖 江 市	25,499	160	4,408	25,434	99.7%
あ わ ら 市	10,289	110	4,400	9,758	94.8%
越 前 市	31,295	239	80,337	31,295	100.0%
坂 井 市	32,963	328	4,557	25,302	76.8%
永 平 寺 町	6,378	89	3,621	6,378	100.0%
池 田 町	890	19	128	692	77.8%
南 越 前 町	3,361	72	1,049	3,296	98.1%
越 前 町	7,264	67	1,632	5,770	79.4%
美 浜 町	3,643	22	6,930	2,785	76.4%
高 浜 町	4,278	44	784	3,445	80.5%
お お い 町	3,254	46	2,353	2,353	72.3%
若 狭 町	4,951	88	1,292	4,658	94.1%
合計・ 平均	300,648	2,926	196,915	276,736	92.0%

管内世帯数：住民基本台帳法に基づく人口、世帯数調べ（令和5年4月1日現在）

隊 員 数：自主防災組織の組織編成において隊員または班員等に位置づけられている実働隊員の総数（令和5年4月1日現在）

第4章 防災行政無線利用状況

1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧（令和5年4月1日現在）

〔固定系〕

区分		局数		設置場所
		多重系	衛星系	
統制局		1	1	県庁
中継局		7		越知山（越前町大谷寺） 久須夜ヶ岳（小浜市堅海） 村国山（越前市村国町） 八ツ杉（越前市別印町） 勝山（勝山市村岡町） 岳山（美浜町早瀬） 青葉山（高浜町中山）
支部局		7	7	7 土木（福井、三国、奥越、丹南、鯖江丹生、敦賀、小浜）
合庁局		1	1	1 合同庁舎（福井）
ダム管等局		12		原子力センター 龍ヶ鼻ダム管※、龍ヶ鼻ダム下流連絡所※、永平寺堰堤※ 笹生川ダム管、笹生川堰堤※、浄土寺川堰堤※ 広野ダム管、広野堰堤※、榑谷堰堤※ 大津呂堰堤※、河内川堰堤※ ※水防無線局を含む
小計		28	9	
端末局	県出先機関		13	健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭）、 県立病院、福井港湾、敦賀港湾、 衛生環境センター、防災航空事務所※ 坂井上水、日野川上水 ※福井空港は、併設局（防災航空隊）と共用
	市町		17	9 市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8 町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
	消防本部		7	7 消防本部 福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、南越、若狭 ※鯖江丹生消防・敦賀美方消防は併設局（鯖江市・敦賀市）と共用
	国・公共機関等		19	福井気象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ オフサイトセンター（敦賀、美浜、大飯、高浜）
	小計		56	
可搬型地球局			3	
合計		28	68	

〔移動系〕

区 分		局 数	設 置 場 所
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11	県庁統制局 中継局（越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、 八ツ杉、勝山） 土木事務所（敦賀） 笹生川ダム管
	F W A (18GHz)	1	坂井合同庁舎
	計	12	
航 空 局		6	防災航空事務所（可搬用含む）
陸 上 移 動 局	全県移動局 260MHzデジタル	車載型 46	県庁 3台 土木事務所 42台（福井6台、三国6台、奥越7台、丹南7台、鯖江丹生6台、 敦賀4台、小浜6台） 防災航空事務所
		半固定型 39	県出先機関 8 台：健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭） 県立病院、防災航空事務所
			9 市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井
			8 町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
			9 消防本部：福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭
			5 防災関係機関：福井駅、NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井
		携帯型 70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台
		携帯型（他機関） 44	原子力センター 3 台、地域医療課 41台
		小 計 199	
	F W A (18GHz)	1	陣ヶ岡中継局
	消 防 移 動 局	車載型 1	防災航空事務所
		携帯型 10	県庁 1台、防災航空事務所 9台
		小 計 11	
	防 災 移 動 局	携帯型 5	防災航空事務所、400MHz 防災相互
	計	216	
携 帯 局（ヘリ用）		消防用 2	防災ヘリコプター
航 空 機 局		航行運航用 1	
ヘ リ サ ツ ト 局	携帯基地地球局	固定型 1	県庁局
	ヘリコプター局	ヘリ搭載型 1	防災ヘリコプター
	計	2	
合 計		239	

2 利用状況

(1) 一般通話の利用状況

令和4年中

区 分	一 年 間 の 総 計	一 カ 月 当 た り の 平 均 使 用 回 数	一 局 当 た り の 月 平 均 使 用 回 数
支 部 ・ 合 庁 局	2 5 4, 4 1 7	2 1, 2 0 1	(9局) 2, 3 5 6
ダ ム 管 等 局	1 0, 8 7 5	9 0 6	(1 1局) 8 2
県 出 先 機 関	6, 3 2 2	5 2 7	(1 4局) 3 8
市 町	5 1 5	4 3	(1 7局) 2. 5
消 防 本 部	1 1 7	1 0	(9局) 1. 1
国 出 先 機 関	7 6	6. 3	(5局) 1. 3
公 共 機 関	3 7	3. 1	(9局) 0. 3
原 子 力 発 電 所 等	8 3	6. 9	(1 0局) 0. 7
合 計	2 7 2, 4 4 2	2 2, 7 0 3	(8 4局) 2 7 0

(2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

令和4年中

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指 令 回 数	2 2 6	1, 2 5 1	7 8 8	2, 2 6 5	6 5 0	8	2, 9 2 3
前年比 (%)	8 1	7 5	9 1	8 1	7 4	6 2	7 9

[指令種類別]

令和4年中

区 分	全 県	県出先	市 町	消 防	その他	合 計
指 令 回 数	2, 6 9 2	1 1	2 0 1	1 8 0	8	3, 0 9 2
前年比 (%)	7 9	2 5	8 5	8 5	—	7 9

(3) 一斉指令月別通信回数

令和4年中

区分	月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
内容	気 警 報	20	14		0	0	16	110	26	0	0	38	226
	象 注 意 報	144	124	82	76	68	195	152	60	76	78	142	1251
	関 情 報	131	109	96	21	21	82	98	55	28	21	100	788
	係 小 計	295	247	180	97	89	293	360	141	104	99	280	2265
	事務連絡	61	52	46	54	53	65	65	60	28	41	73	650
別	テ ス ト	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	計	356	299	227	153	142	358	425	201	132	140	353	2923
	全 県	348	272	223	147	136	310	375	176	118	127	340	2692
	県 出 先	0	4	0	1	1	0	0	0	2	0	0	11
	市 町	8	23	4	4	5	44	49	9	14	13	12	201
種類別	消 防	8	23	3	5	5	43	44	6	11	9	11	180
	そ の 他	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8
	計	364	322	230	157	147	405	468	191	145	149	363	3092

備考) 市町と消防へ一括して一斉指令した場合は、市町と消防の種類別において、それぞれ回数を計上

3 多重局通信回数集計表

令和4年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
福井支部	1,843	1,763	2,493	2,482	2,177	2,325	2,008	1,803	2,096	1,745	1,514	1,797	24,046
三国支部・坂井合庁	2,338	2,160	3,166	3,710	2,775	3,219	2,661	2,649	2,857	2,506	2,238	2,281	32,560
奥越支部・奥越合庁	1,851	1,761	2,201	2,871	2,069	2,450	1,926	2,556	2,208	2,229	1,938	1,863	25,923
勝山中継局 ^(注1)	135	175	128	194	215	257	264	101	201	241	173	219	2,303
丹南支部・南越合庁	3,293	3,028	4,356	4,322	3,254	3,998	3,156	5,326	4,101	3,486	3,864	3,843	46,027
鯖江丹生支部	1,125	1,004	1,522	1,753	1,092	1,327	1,089	999	958	785	887	955	13,496
敦賀支部・敦賀合庁	2,420	2,673	3,648	3,379	2,897	3,432	2,659	3,135	2,794	2,670	2,661	2,501	34,869
小浜支部・若狭合庁	2,894	2,977	4,009	4,337	3,648	4,017	3,279	3,140	3,493	3,184	2,986	2,751	40,715
福井合庁	2,709	2,590	3,446	3,673	2,896	3,528	2,732	2,789	2,818	2,875	2,091	2,331	34,478
原子力センター	275	352	572	320	352	294	298	297	244	292	266	266	3,828
笹生川ダム管	127	117	171	149	129	106	110	100	117	121	97	120	1,464
笹生川堰堤	0	2	0	1	0	9	0	17	6	3	11	1	50
浄土寺川堰堤	2	0	0	5	5	10	18	11	2	10	10	5	78
広野ダム管	177	308	316	399	400	401	260	417	216	324	227	194	3,639
広野堰堤	3	15	12	28	42	59	26	42	24	30	34	18	333
梶谷堰堤	10	11	24	29	30	63	37	61	17	30	44	33	389
龍ヶ鼻ダム管、永平寺堰堤	52	65	135	152	82	93	52	54	61	96	85	79	1,006
大津呂ダム管	0	0	0	1	26	10	0	5	4	2	0	16	64
河内川堰堤	0	1	0	2	0	7	1	3	0	2	0	8	24
計	19,254	19,002	26,199	27,807	22,089	25,605	20,576	23,505	22,217	20,631	19,126	19,281	265,292

(注1) 恐竜博物館への通信を含む

※土木事務所(支部局)と合同庁舎が隣接している局については、合算している。

4 端末局無線通信回数調

令和4年中

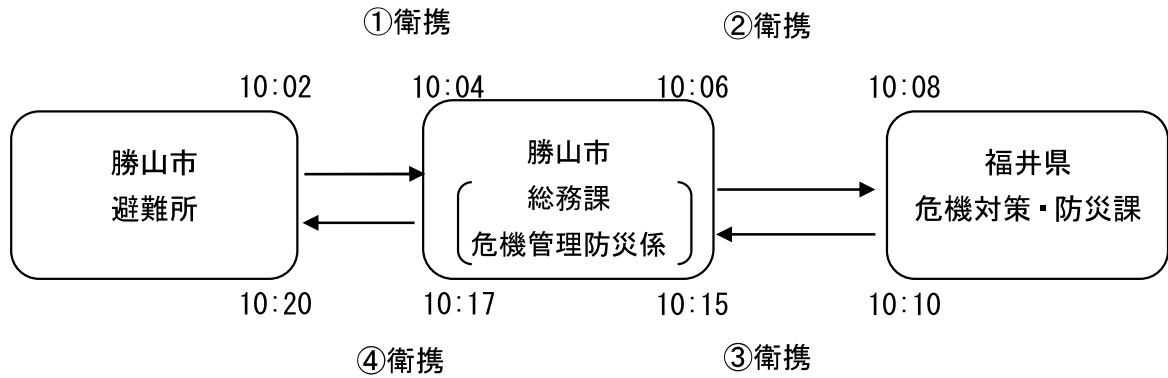
無 線 局	通 信 回 数	無 線 局	通 信 回 数	無 線 局	通 信 回 数
福 井 市	38	福 井 消 防	12	福 井 気 象 台	57
敦 賀 市	25	大 野 消 防	16	鯖 江 自 衛 隊	6
小 浜 市	22	勝 山 消 防	14	舞 鶴 自 衛 隊	2
大 野 市	37	永 平 寺 消 防	14	敦 賀 海 保	5
勝 山 市	37	嶺 北 消 防	17	福 井 海 保	6
鯖 江 市	53	鯖江丹生消防	10	国 出 先 計	76
あ わ ら 市	28	南 越 消 防	10	福 井 駅	3
越 前 市	36	敦賀美方消防	11	N H K 福 井	0
坂 井 市	21	若 狭 消 防	13	福 井 テ レ ビ	1
市 計	297	消 防 計	117	福 井 放 送	0
永 平 寺 町	15	福 井 保 健	35	F M 福 井	0
池 田 町	28	若 狭 保 健	24	日 赤 福 井	4
南 越 前 町	42	二 州 保 健	156	福 井 県 医 師 会	8
越 前 町	29	丹 南 保 健	1,358	福 井 火 力	6
美 浜 町	27	坂 井 保 健	19	福 井 備 蓄	15
若 狭 町	31	奥 越 保 健	21	公 共 機 関 計	37
お お い 町	23	衛生環境センター	1,965	原 電 敦 賀	4
高 浜 町	23	県 立 病 院	71	関 電 美 浜	18
町 計	218	防 災 航 空 隊	21	関 電 大 飯	5
市 町 計	515	福 井 港 湾	216	関 電 高 浜	3
		敦 賀 港 湾	1,824	原子力機構ふげん	3
		福 井 空 港	17	原子力機構もんじゅ	12
		坂 井 上 水	269	敦 賀 オ フ サ イ ト	6
		日 野 川 上 水	326	美 浜 オ フ サ イ ト	20
		県 出 先 計	6,322	大 飯 オ フ サ イ ト	6
				高 浜 オ フ サ イ ト	6
				原子力発電所等計	83
				合 計	7,150

※衛星回線による、端末局同士の通信回数はカウントされていない

5 非常通信訓練実施状況

(1) 令和4年度福井県総合防災訓練における非常通信訓練（令和4年10月8日）

- ・勝山市役所から福井県あて往復信

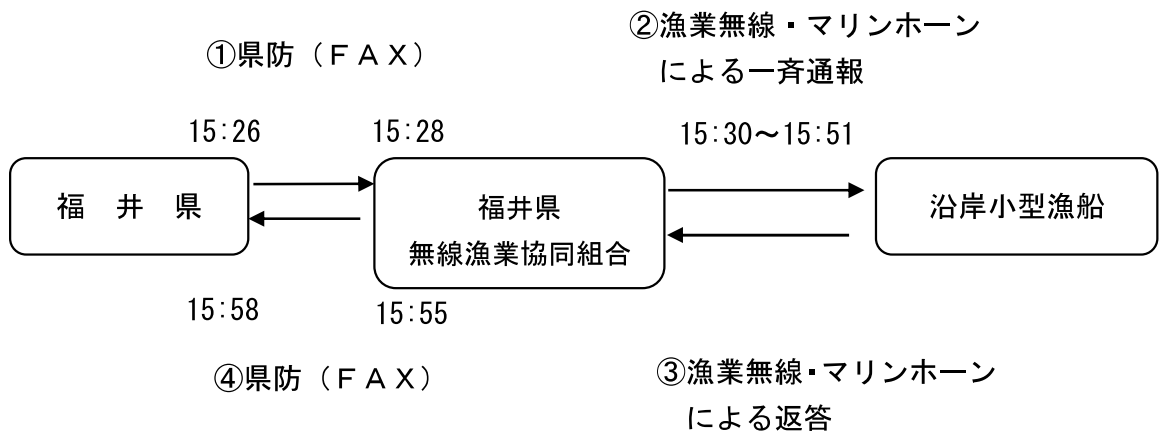


（参考）

- ・衛携：衛星携帯電話

(2) 原子力総合防災訓練における非常通信訓練（令和4年11月4日）

- ・福井県から沿岸の船舶に向けて情報発信（漁業無線およびマリンホーンを使用）

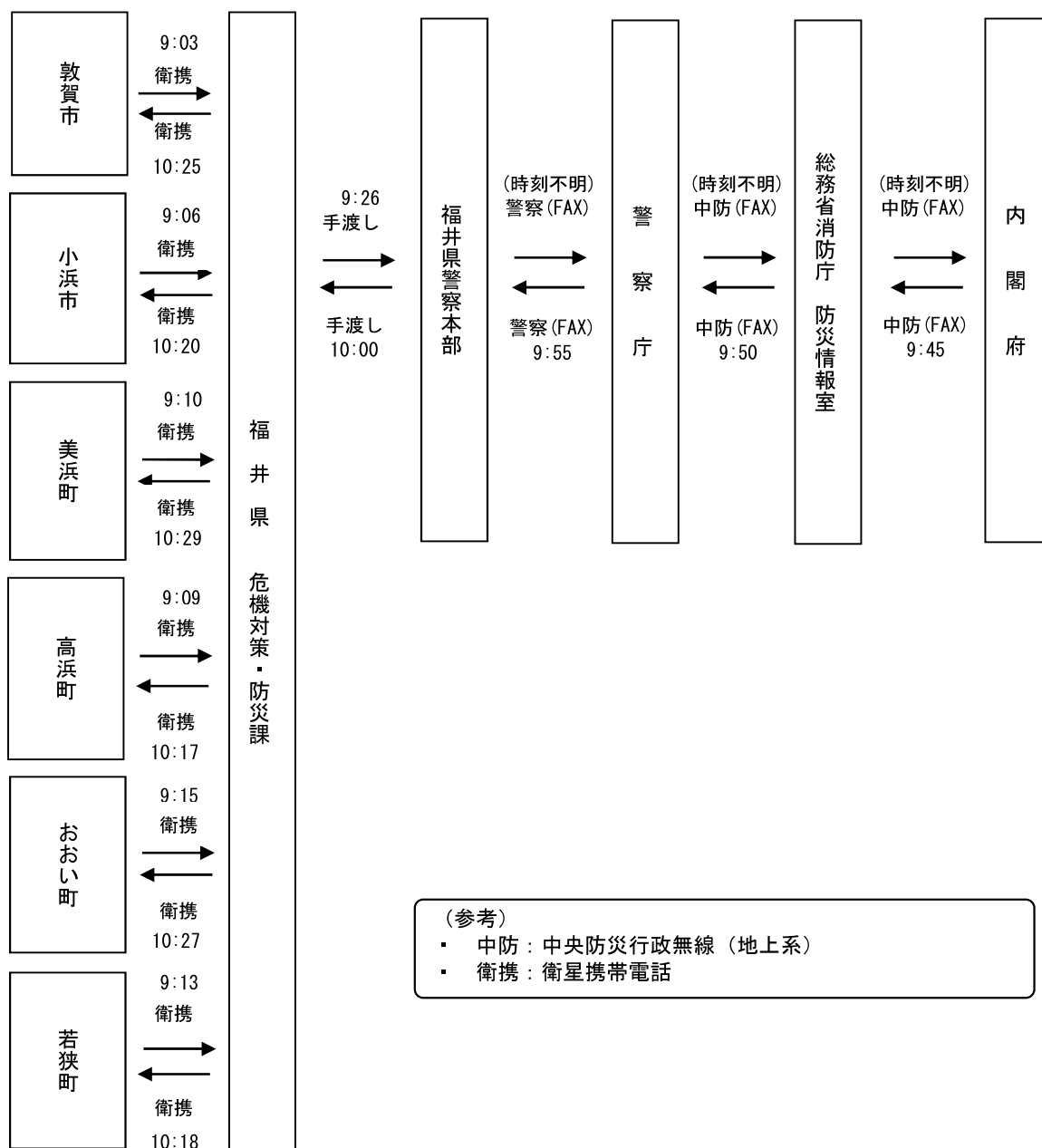


（参考）

- ・県防：県防災行政無線（地上系）

(3) 第85回全国非常通信訓練(令和4年11月30日)

- ・嶺南地方から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信。市町～県庁間は衛星携帯電話(ワイドスターⅡ)、県庁～内閣府間は国交省ルートを使用。

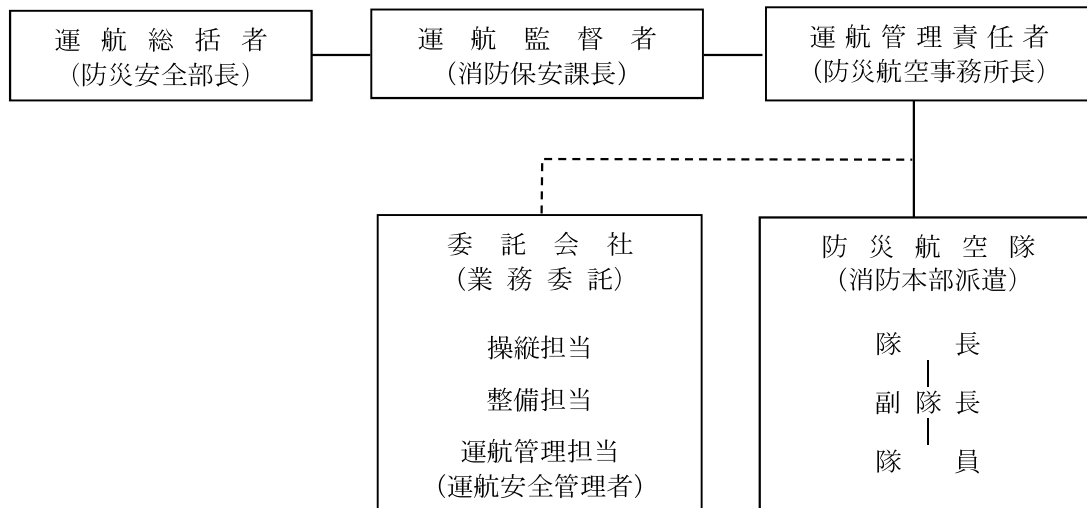


第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運 航 基 地

福井県防災航空事務所（福井空港内）

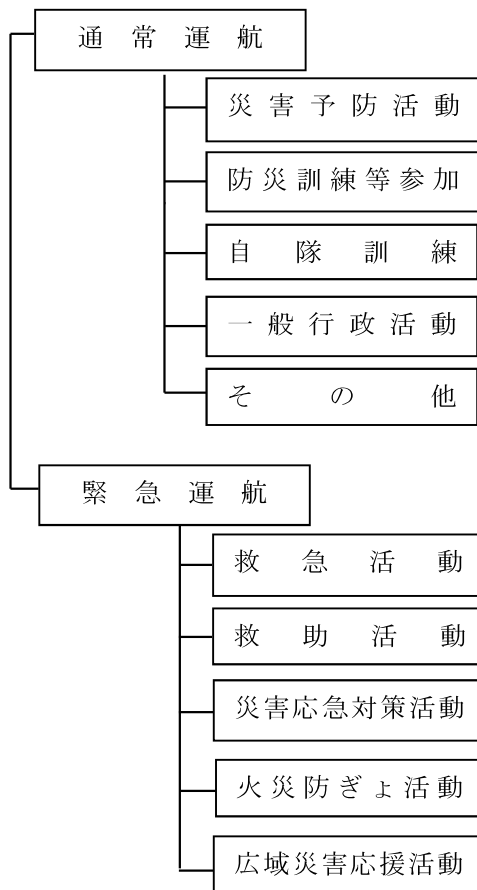
2 組 織 図



3 運 航 時 間

毎日、午前8時30分から午後5時15分まで
 （ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで）

4 活 動 業 務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-2
メーカー（製造国）	川崎重工業（日本）
エンジン最大出力	1,384 SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,585 kg
最大搭載可能重量	1,715 kg
航続距離	685 km
ホイスト装置	270 kg
貨物吊り下げ装置	1,500 kg
全長	13.03 m
全高	3.95 m
最大速度	278 km/h
航続時間	約3.5 h
着陸方式	スキッド式

第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

令和5年3月31日現在

区 分		緊 急 運 航								通 常 運 航						合 計
		救急	救助	災害応急	火災防御	広域災害応援	計	自隊訓練	連携訓練	防災訓練参加	災害予防活動		整備	その他		
											危険箇所調査	災害予防広報				
平成23年度	件数	25	26	4	1	6	62	125		39		4	3	4	241	
	時間	10:01	10:46	4:03	3:19	11:09	39:18	151:46		29:10		16:10	5:23	3:31	250:26	
平成24年度	件数	25	24		1	11	61	162		39		3	5	5	276	
	時間	13:51	18:31		0:52	13:25	46:39	183:11		27:30		11:08	7:41	2:03	279:52	
平成25年度	件数	29	23	9		12	73	158		33		3	1	4	277	
	時間	15:24	19:33	13:12		13:28	61:37	184:16		21:18		11:11	5:54	4:05	290:01	
平成26年度	件数	28	29			12	69	139		33	1	3	4	8	265	
	時間	12:35	20:32			12:35	45:42	146:21		26:36	1:43	11:43	2:16	5:26	247:49	
平成27年度	件数	36	36			6	78	162		40			2	6	291	
	時間	19:30	26:08			9:38	55:16	174:09		25:37			2:24	2:37	264:19	
平成28年度	件数	37	31			10	78	142		40			2	9	273	
	時間	20:50	30:03			14:41	65:34	152:04		29:34			3:17	10:26	262:16	
平成29年度	件数	28	40		1	14	83	152		27			1	7	273	
	時間	15:55	29:37		1:04	14:55	61:31	159:41		20:22			1:26	1:34	249:40	
平成30年度	件数	21	18	1	1	21	62	176		32				4	282	
	時間	15:19	9:26	0:25	0:24	12:56	38:30	188:45		22:58			5:48	1:44	257:45	
令和元年度	件数	25	36	2		28	91	167		25			11	4	298	
	時間	13:50	24:25	1:23		24:21	63:59	183:15		22:10			6:49	2:23	278:36	
令和2年度	件数	35	42	1	2	8	88	155		37			19	1	300	
	時間	16:26	23:20	1:07	1:50	8:50	51:33	179:38		31:29			9:31	0:51	273:02	
令和3年度	件数	27	43	5	5	24	104	158	31	7			9	4	313	
	時間	10:26	30:43	3:46	5:45	14:19	64:59	172:31	28:44	5:43			7:14	2:07	281:18	
令和4年度	件数	29	36	6	3	40	114	125	23	15			17	4	298	
	時間	12:14	19:26	4:00	4:15	30:16	70:11	129:00	17:15	9:47			6:26	2:30	235:09	

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、耐空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある

保 安 編

第1章 高圧ガス・液化石油ガス保安

概況

高圧ガスは、エネルギー、原料ガスおよび先端技術分野における特殊材料ガスなどに利用されるなど、その活用分野は広範囲である。ただし、高圧ガスは有用な反面、高圧状態であること、さらにガスの種類によって可燃性、支燃性および毒性などの化学的な特性があるため、大規模な事故や災害を巻き起こす危険性がある。

このため、高圧ガス保安法等の関係法令に基づく許可や届出義務などによる危害予防のための規制があるほか、高圧ガス事業者および高圧ガス保安協会による自主的な保安活動を促進するための各種の講習会などを通じた保安指導を実施している。

国内全体での高圧ガスの事故は、平成30年の722件をピークに減少傾向が続いていたが、一昨年は前年比増加、昨年は前年比同数であった。（令和元年660件、令和2年601件、令和3年640件、令和4年640件）。

なお、内訳で最も多いのが、冷凍設備がある製造事業所での事故（令和元年306件、令和2年260件、令和3年281件、令和4年272件）である。

一方、高圧ガスのうち一般消費者等への販売にかかる液化石油ガス事故については、全国で平成18年に219件（前年比＋114件）と急激な増加を見せた後は年によって増減の幅はあるものの、おおむね200件前後で推移し、令和4年は261件（前年比＋49件）であった。

県は、法令遵守はもとより、講習会、保安検査および立入検査などを定期または随時に実施し、高圧ガス事業者等に対する指導を行なっている。特に、液化石油ガス事業者に対しては、液化石油ガス設備の点検・調査および改善などの法令遵守ならびに事故防止対策の徹底の指導などを通じ、一般消費者等の安全・安心を推進している。

第1表 市町別高圧ガス関係事業所数

令和5年3月31日現在

事業所 区分	製 造 事 業 者				販 売 事 業 者 (店 舗 数)							貯 蔵 所						特定消費事業所			水 素 ス タ ン ド	保 安 機 関	容 器 検 査 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	第 1 種		第 2 種		計	一般 (LPG 販売を 兼ねて いる者を 含む)	液化石油ガス				冷凍 計	第 1 種		第 2 種		計	一般	液化 石油 ガス	計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
							高圧法 のみ	液石法のみ		両方																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	一般 石油 ガス	液化 石油 ガス	一般	液化 石油 ガス				大臣 所管	知事 所管	大臣 知事 所管		知事 所管	一般	液化 石油 ガス	小計					一般 石油 ガス				小計	一般 石油 ガス	小計	一般	液化 石油 ガス	小計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
市町																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

第2表 令和4年度高圧ガス保安法申請等状況

申請等種別		件数
製造	製造許可	4
	製造事業届	36
	製造変更許可	21
	完成検査(変更含む)	19
	保安検査	26
販売	販売事業届	14
貯蔵	貯蔵所設置許可	2
	貯蔵所設置届	0
	貯蔵所変更許可	5
	完成検査(変更含む)	5
消費	特定高圧ガス消費届	0
容器	容器検査所登録	0
	容器検査所登録更新	3
	ガス種類又は圧力の変更	0
計		135

第3表 令和4年度液化石油ガス法申請等状況

申請等種別	件数
販売事業登録	0
販売事業者登録簿謄本交付	3
販売事業者登録簿閲覧	0
販売事業者認定	2
保安機関認定	1
保安機関認定更新	11
一般消費者等増加認定	2
貯蔵施設等設置許可	0
貯蔵施設等設置変更許可	1
貯蔵施設等完成検査(変更含む)	1
充てん設備許可	1
充てん設備変更許可	1
充てん設備完成検査(変更含む)	2
充てん設備保安検査	3
計	28

第4表 令和4年度高圧ガス製造保安責任者試験実施状況

種 類	受験者区分	出願者数 (人)	受験者数 (人) (A)	合格者数	
				(人) (B)	合格率 (%) (B/A)
乙種化学	全科目受検者	1 5	1 5	4	2 6. 7
	科 目 免 除 者	5	5	4	8 0. 0
	計	2 0	2 0	8	4 0. 0
乙種機械	全科目受検者	2 4	1 7	6	3 5. 3
	科 目 免 除 者	7	6	5	8 3. 3
	計	3 1	2 3	1 1	4 7. 8
丙種化学 (液石丙化)	全科目受検者	2 4	2 2	4	1 8. 2
	科 目 免 除 者	1 7	1 5	1 2	8 0. 0
	計	4 1	3 7	1 6	4 3. 2
丙種化学 (特別丙化)	全科目受検者	3 9	3 4	1 2	3 5. 3
	科 目 免 除 者	4	4	4	1 0 0
	計	4 3	3 8	1 6	4 2. 1
第二種 冷凍機械	全科目受検者	4	1	0	0
	科 目 免 除 者	3	3	1	3 3. 3
	計	7	4	1	2 5. 0
第三種 冷凍機械	全科目受検者	3 5	2 9	5	1 7. 2
	科 目 免 除 者	9	8	7	8 7. 5
	計	4 4	3 7	1 2	3 2. 4
計	全科目受検者	1 4 1	1 1 8	3 1	2 6. 3
	科 目 免 除 者	4 5	4 1	3 3	8 0. 5
	計	1 8 6	1 5 9	6 4	4 0. 3

第5表 令和4年度高圧ガス販売主任者試験実施状況

種 類	受験者区分	出願者数 (人)	受験者数 (人) (A)	合格者数 (人) (B)	合格率 (%)
					(B/A)
第一種販売 主 任 者	全科目受験者	2 4	2 4	1 3	5 4 . 2
	科 目 免 除 者	3	3	2	6 6 . 7
	計	2 7	2 7	1 5	5 5 . 6
第二種販売 主 任 者	全科目受験者	5 1	4 6	1 6	3 4 . 8
	科 目 免 除 者	2 8	2 8	2 7	9 6 . 4
	計	7 9	7 4	4 3	5 8 . 1
計	全科目受験者	7 5	7 0	2 9	4 1 . 4
	科 目 免 除 者	3 1	3 1	2 9	9 3 . 5
	計	1 0 6	1 0 1	5 8	5 7 . 4

第6表 令和4年度液化石油ガス設備士試験実施状況

出願者 (人)	受験者 (人) (A)	筆記試験合格者		技能試験合格者 (人) (C)	合格率
		(人) (B)	筆記試験合格率 (%) (B/A)		(%) (C/B)
1 4	1 4	8	5 7 . 1	7	8 7 . 5

第7表 令和4年度高圧ガス関係免状交付状況

免状の 種類	製造保安責任者						販売主任者	
	乙種化学	乙種機械	丙種化学 (液石丙化)	丙種化学 (特別丙化)	第二種 冷凍機械	第三種 冷凍機械	第一種 販 売	第二種 販 売
交付数 (件)	1 1	1 1	1 7	1 7	1	1 7	1 4	4 2
再交付 数 (件)		1	1			1		2
書換数 (件)				1				3
計	1 1	1 2	1 8	1 8	1	1 8	1 4	4 7

第8表 令和4年度液化石油ガス関係免状交付状況

交付数（件）	再交付数（件）	書換数（件）	計
20	2	7	29

第9表 令和4年高圧ガス事故発生状況

ガスの種類	事故発生日	事故発生市町	事故の概況	人的被害			原因
				死者	重傷	軽傷	
液化石油ガス	R4.5.5	大野市	バルクローリーの充てん作業者が客先のスーパーにてガスを充てんする為にバックしていた際、目測を誤り駐車場から後輪が脱輪した。その際、車両下部の液受入配管のボールバルブ接続部からガスが漏れた。	0	0	0	バックモニターの画像だけで判断していたことによる駐車場と路肩の境界の誤認
酸素	R4.8.4	勝山市	事業所敷地内の小屋に酸素ガス3m ³ 容器2本（1本は充瓶、1本は空瓶）を保管していた所、土砂災害により小屋が倒壊し、小屋と共に容器2本が事業所外へ流出した。	0	0	0	大雨に伴う土砂災害
窒素	R4.9.6	敦賀市	始業点検時に加圧器出口配管隅肉溶接部より少量のガス漏れを発見。	0	0	0	走行中のシャーシの振動や捻じれにより、操作室内の加圧器出口側配管の管押えが破断
フルオロカーボン	R4.10.7	敦賀市	空冷式冷凍機の異常メッセージ発報を点検時に発見しメーカーにて調査したところ3号機で漏洩を確認。同型の5台も調査した結果、2号機でも漏えいを発見。	0	0	0	振動などにより凝縮器Uベンド部接触個所が摩耗して貫通穴が生じ、冷媒漏れが発生

フルオロカーボン	R4. 10. 20	小浜市	最近冷媒量が減少してきたように思いメーカーに点検を依頼、メーカーの作業員が漏洩検知器で点検中検知器が反応したため漏えいを発見。	0	0	0	防熱材の経年劣化により配管表面に結露が発生、その結果配管が腐食
液化石油ガス	R4. 10. 23	鯖江市	消費者がトラックで工事現場に移動中に何らかの原因で車両後部ゲートが開きLPガスの10kg容器が落下した。落下に乗務員は気付かず、第三者から警察に通報があり、警察が現場到着時に若干のガス漏れを確認。	0	0	0	容器を移動する際に車両に緊縛しなかったため、落下時の衝撃でバルブがゆるみ、漏えいが発生
フルオロカーボン	R4. 12. 2	敦賀市	11月30日 ブライン設備で設備異常が発報。ブライン冷凍機が低圧異常で停止したことを確認。冷凍機メーカーに点検を依頼。 12月01日 ブライン冷凍機の凝縮器冷却水及び冷水の入出バルブを閉とした。 12月02日 メーカー点検により凝縮器からの漏えいを確認。 12月05日 凝縮器付属の安全弁からの漏えいを確認。	0	0	0	凝縮器の冷却水出口に設置されている制水弁が動作不良を起こして冷凍機起動時の高圧力制御ができず、凝縮器付属の安全弁内シート部劣化箇所から漏えいが発生

第 10 表 令和 4 年液化石油ガス事故発生状況

事 故 発生日	事故発生 市町	事故の概況	人的被害			原 因
			死 者	重 傷	軽 傷	
R4. 4. 22	福井市	消費者発注の工事業者が埋設ガス管を破損しガスが漏えいした。	0	0	0	消費者からガス事業者 に工事を行う旨の 事前通報がなかつ た。
R4. 10. 12	越前市	消費者発注の工事業者が埋設ガス管を破損しガスが漏えいした。	0	0	0	消費者からガス事業者 に工事を行う旨の 事前通報がなかつ た。
R4. 12. 10	あわら市	市内区民館設置のガス容器の盗難	0	0	0	無人の時間帯が多 く、盗難が容易な施 設であった。

第2章 火 薬 類 保 安

概況

火薬類は、土木、採石、鉱山等の事業に使用されているほか、身近なものではがん具煙火にいたるまで様々な種類があり、多岐にわたって利用されている。

しかし、その取扱いによっては大事故につながる恐れがあり、製造から消費にいたるまで厳しく規制を行うなど、安全性の確保が強く要求されている。

本県においては、県公安委員会との密接な連携のもとに立入検査による法の厳格かつ適切な運用を図るとともに、取り扱う者自らによる自主保安体制づくりが事故予防上重要であることから、危害予防週間を通じ保安意識の啓蒙と普及に努めている。

また、許認可については、県では消防保安課の他、奥越農林総合事務所、嶺南振興局で行っているが、煙火および空包の許可については、平成8年度から県内各市町（消防本部）で行っている。

第1表 火薬類関係事業所等数

令和5年3月31日現在

(単位：件)

販 売 業 者	火薬・爆薬および火工品	8
	競 技 用 紙 雷 管	28
	合 計	36
火 薬 庫	1 級 火 薬 庫	13
	2 〃	0
	3 〃	2
	煙 火 〃	5
	実 包 〃	1
	合 計	21
庫外貯蔵所	販 売 業 者 所 有	11
	そ の 他 所 有	9
	合 計	20

第2表 銃砲関係事業所数

業 種	事業所数
販 売	1
製造（修理・改造のみ）および販売	3
計	4

第3表 火薬類（爆薬）の消費量の推移

（単位：t）

業種 年度	鉱山	石灰石	土木	採(砕)石	その他	合計
平成28	9	2	508	79	0	598
29	9	3	694	86	1	793
30	12	4	803	152	0	971
令和元	1	0	156	83	0	240
2	1	0	46	159	0	206
3	0	0	85	104	0	189
4	0	0	145	69	0	214

第4表 火薬類取扱および丙種火薬類製造保安責任者試験実施状況

種 別	出願者数(人)	受験者数 (人) (A)	合格者(人) (B)	合格率(%) (B/A)
甲 種	50	39	16	41.0
乙 種	12	12	4	33.3
丙 種	2	2	0	0.0
計	64	53	20	37.7
会場：9月4日（日）福井県自治会館				

第5表 令和4年度火薬類保安講習関係講習会実施状況

講 習 会 名	回 数 (回)	受講者数 (人)
火薬類取扱者再教育・保安教育講習会	11	294
火薬類取扱保安責任者養成講習会	1	17
煙 火 消 費 保 安 講 習 会	1	84

第6表 令和4年度火薬類許可申請等の状況

(1) 県許可申請等

区 分	種 別		件 数 (件)
危機対策・防災課	譲 受	火工品のみ	0
		25kg 以下	1
		上 記 以 外	21
	譲 渡		2
	火 薬 庫 設 置		0
	火 薬 庫 変 更		0
	火薬庫完成検査（設置）		0
	〃 （変更）		0
	火 薬 庫 保 安 検 査		9
	免 状 交 付		20
	免 状 再 交 付		1
	販 売 営 業		0
	計		54
総合事務所 奥越農林	譲 受	火工品のみ	0
		25kg 以下	1
		上 記 以 外	8
	譲 渡		9
	計		18
企画振興室 若狭 嶺南振興局	譲 受	火工品のみ	0
		25kg 以下	0
		上 記 以 外	1
	譲 渡		0
	計		1
企画振興室 一州 嶺南振興局	譲 受	火工品のみ	0
		25kg 以下	0
		上 記 以 外	2
	譲 渡		0
	計		2
合 計			75

(2) 市町許可申請等

消防本部名	区分	種 別			件 数
		煙火消費	空包譲受	空包譲渡	
福 井 市		12	0	0	12
大 野 市		2	0	0	2
勝 山 市		4	0	0	4
永 平 寺 町		1	0	0	1
嶺 北 消 防 組 合		5	0	0	5
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合		8	0	0	8
南 越 消 防 組 合		11	0	0	11
敦 賀 美 方 消 防 組 合		9	0	0	9
若 狭 消 防 組 合		10	0	0	10
計		62	0	0	62

第 7 表 令和 4 年度事故発生状況

発生日	発生場所	区分	状況	被害	原因
なし					

